
鳩山町公共交通ニーズに関するアンケート調査
調査結果（全体版）

令和3年3月22日（月）
鳩山町地域公共交通会議

目次

1. 調査概要	1
1.1. 調査対象.....	1
1.2. 調査時期.....	1
1.3. 調査項目.....	1
1.4. 回収率.....	1
2. 調査結果	2
2.1. 個人属性.....	2
2.1.1. 居住地.....	2
2.1.2. 性別.....	3
2.1.3. 年齢.....	3
2.1.4. 職業.....	4
2.1.5. 自動車の運転の実施状況.....	4
2.1.6. 普段利用する公共交通の状況.....	5
2.2. 外出状況.....	9
2.2.1. 外出目的.....	9
2.2.2. 外出頻度.....	10
2.2.3. 外出先.....	11
2.2.4. 出発時間帯.....	13
2.2.5. 帰宅時間帯.....	15
2.2.6. 移動手段.....	17
2.2.7. 町外への移動の状況.....	19
2.2.8. 目的別の外出状況.....	21
2.3. あきらめている移動について.....	30
2.3.1. 移動をあきらめていることの有無.....	30
2.3.2. あきらめている外出先.....	31
2.4. デマンドタクシーのインターネット予約について.....	32
2.4.1. インターネットの利用状況.....	32
2.4.2. インターネット予約の利用意向.....	33
2.5. 新型コロナウイルス発生前後の外出状況の変化.....	34
2.6. デマンドタクシーの運営内容の変更について.....	36
2.6.1. 町内循環バスの廃止とデマンドタクシーへの置き換えについて.....	36
2.6.2. デマンドタクシーの運賃に対する意見.....	41
2.7. モビリティマネジメントの実施の可能性について.....	42
2.8. 参考：外出頻度を考慮した1日の外出者数推計の手法.....	43
3. アンケート調査票	45

1. 調査概要

1.1. 調査対象

- ・ 鳩山町の全世帯を対象に、15歳以上（中学校を卒業）の家族全員の回答を依頼
- ・ 外出状況は、平日・休日それぞれについて、該当する家族全員に対して1人あたり最大3つまで回答を依頼

1.2. 調査時期

- ・ 令和2年11月26日に郵送にて調査票の配布開始
- ・ 令和2年11月30日～令和3年1月14日までに受領した回答を集計

1.3. 調査項目

①個人属性

（住所、性別、年齢、職業、運転免許証の有無 等）

②公共交通機関の利用状況

（普段利用する鉄道駅、路線バス・町内循環バス停留所）

③外出状況

（外出目的、外出頻度、外出先、出発／帰宅時間帯、移動手段）

④あきらめている外出の状況

（公共交通が不便であることが原因であきらめている外出先 等）

⑤インターネットの利用状況

（インターネットの利用の有無や利用方法 等）

⑥新型コロナウイルスの影響（発生前後の外出頻度）

⑦鳩山町の移動手段のあり方（公共交通の運行内容、運賃 等）

⑧モビリティマネジメント実施の可能性

1.4. 回収率

	回答数	総世帯数		回収率	
世帯数(世帯)	2,483	5,295		46.9%	
	サンプル数	総人口(母集団)	母集団に占めるサンプル数の割合(回答比率)	信頼レベル	誤差
回答者数(人)	4,865	13,488	36.1%	99%	1.5%

※総世帯数、総人口：令和2年11月1日現在

※一般的な調査は信頼レベル95%、誤差5%で、それを上回る。

※信頼レベル99%、誤差1.5%とは、母集団（総人口）内でサンプルを入れ替えた場合に、当初のサンプルでの結果の±1.5%の範囲内に収まる確率が99%ということ。

2. 調査結果

2.1. 個人属性

2.1.1. 居住地

「楓ヶ丘」が19.1%で最も多く、「鳩ヶ丘」が17.7%、「松ヶ丘」が16.8%、「赤沼」が7.0%と続く。
総数=4,865

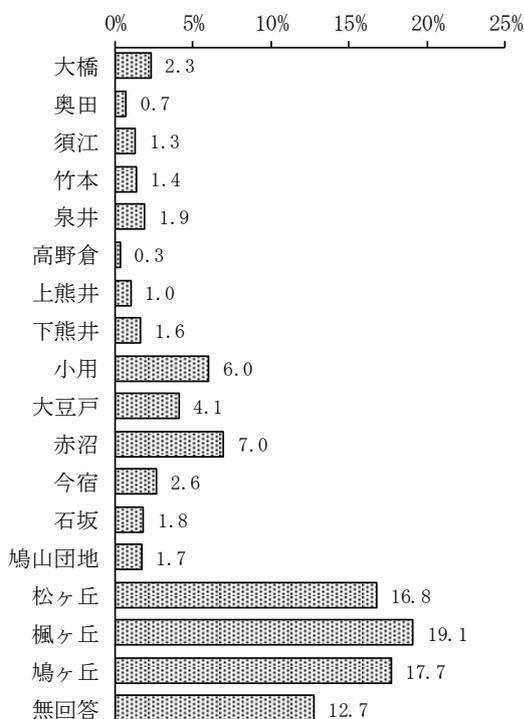


図 2-1 居住地

無回答を除いて居住地の回答を見ると、これら鳩山ニュータウン地区の回答者の割合は人口分布と比較して高い。

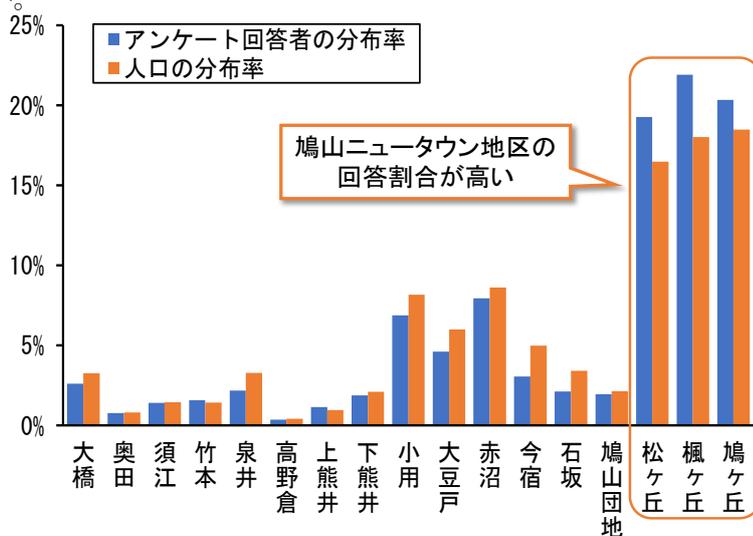


図 2-2 居住地の回答の分布と人口分布の比較

2.1.2. 性別

回答者の性別は、男性は47.4%、女性は49.4%となっており、回答者の男女比は概ね同程度の割合である。

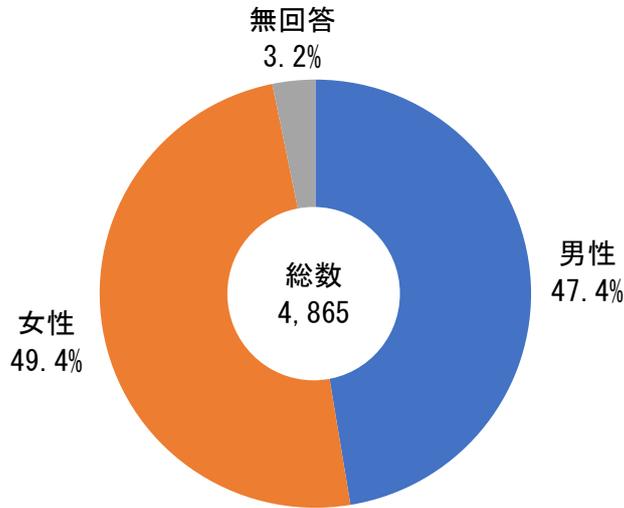


図 2-3 性別

2.1.3. 年齢

70代以上が44.5%で最も多く、60代が24.5%、40代が9.3%、50代が8.1%と続く。

無回答を除いて居住地の回答を見ると、鳩山町の人口分布と比較して60代以上の回答者の割合が高い。

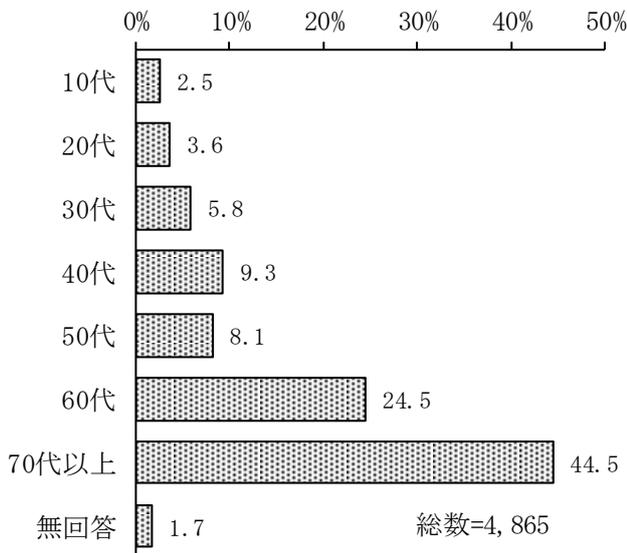


図 2-4 年齢構成

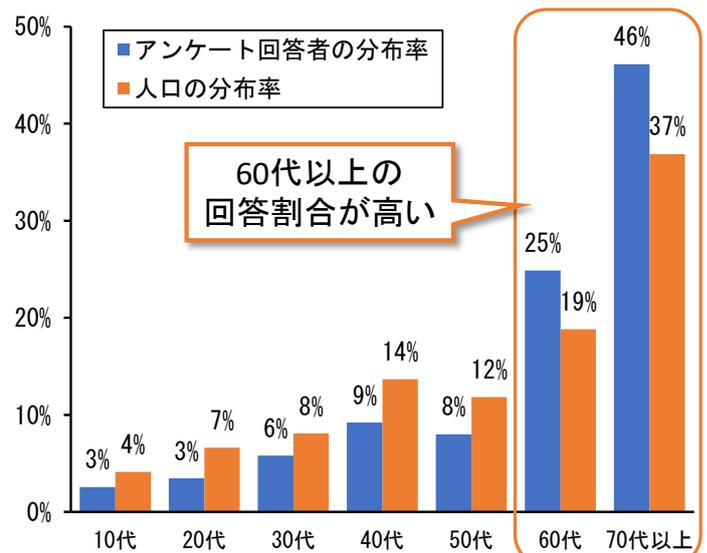


図 2-5 年齢構成の回答の分布と人口分布の比較

2.1.4. 職業

「無職」が33.6%で最も多く、「会社員、団体職員、公務員等」が30.0%、「主婦」が22.0%、「自営業」が5.3%と続く。

総数=4,865

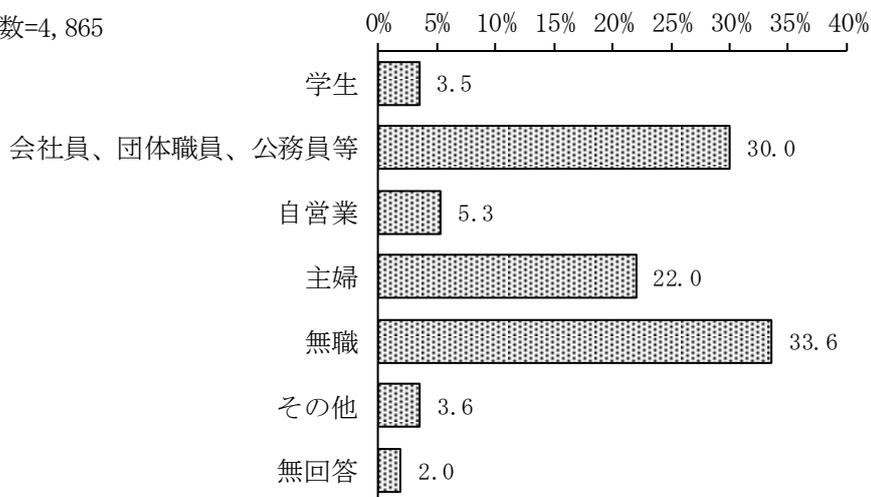


図 2-6 職業

2.1.5. 自動車の運転の実施状況

(1) 運転免許の保有状況

「自動車」が76.5%で最も多い。また、運転免許証を保有していない割合は19.5%である。

総数=4,865 (複数回答)

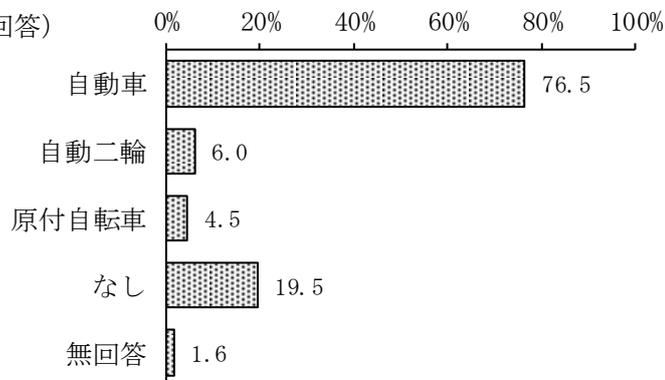


図 2-7 運転免許証の保有状況

(2) 普段の運転の実施状況

運転免許証を保有している回答者のうち、普段運転している回答者が90.1%を占める。

総数=3,837 (複数回答)

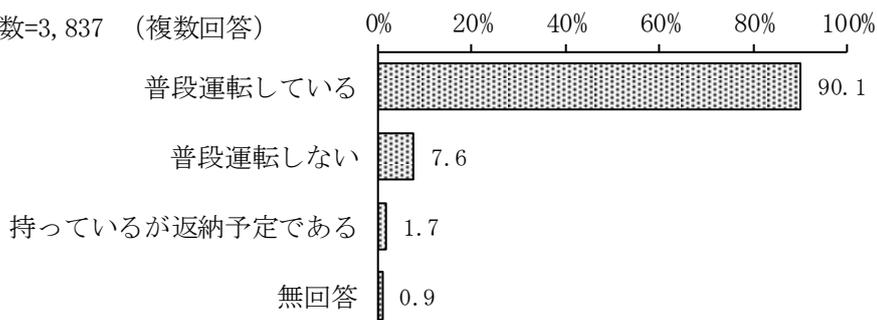


図 2-8 普段の運転の実施状況

2.1.6. 普段利用する公共交通の状況

(1) 鳩山町周辺の鉄道駅

a) 全体集計

「高坂駅」が49.0%で最も多く、次に「坂戸駅」が19.2%、「北坂戸駅」が18.6%となり、これら3駅が鳩山町の住民が主に利用する鉄道駅となっている。

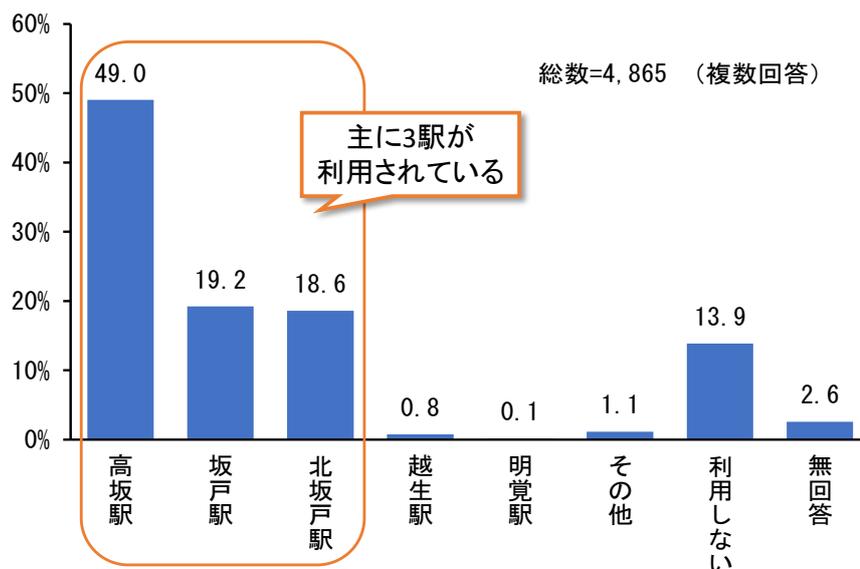


図 2-9 普段利用する鳩山町周辺の鉄道駅

b) 居住地別の普段利用する周辺駅

高坂駅が最も利用件数が多く、2098 件、坂戸駅と北坂戸駅がそれぞれ 821 件と 795 件と、同程度である。

エリア別で見ると、大橋・下熊井・小用・大豆戸・赤沼・今宿は坂戸駅を利用する傾向にあり、奥田・須江・鳩山団地・鳩山日立・松ヶ丘・楓ヶ丘は高坂駅を利用する傾向にあることがわかる。

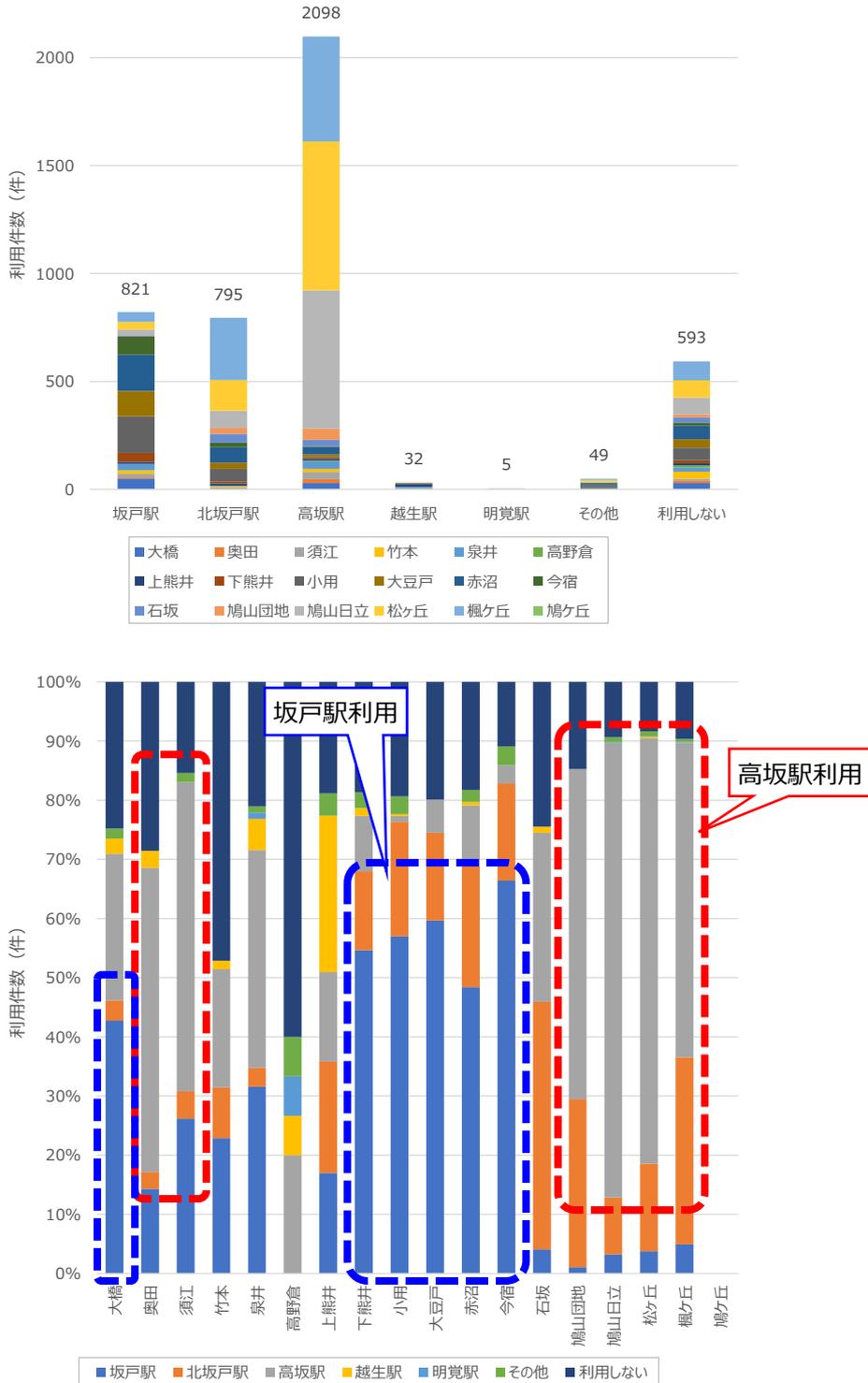


図 2-10 居住地別：普段利用する鳩山町周辺の鉄道駅（利用件数・構成比）

(2) 路線バスの自宅最寄りの停留所

「ニュータウン中央」が23.1%で最も多く、「サブセンター前」が10.2%、「鳩山高校入口」が9.3%、「ニュータウン北」が6.1%と続く。

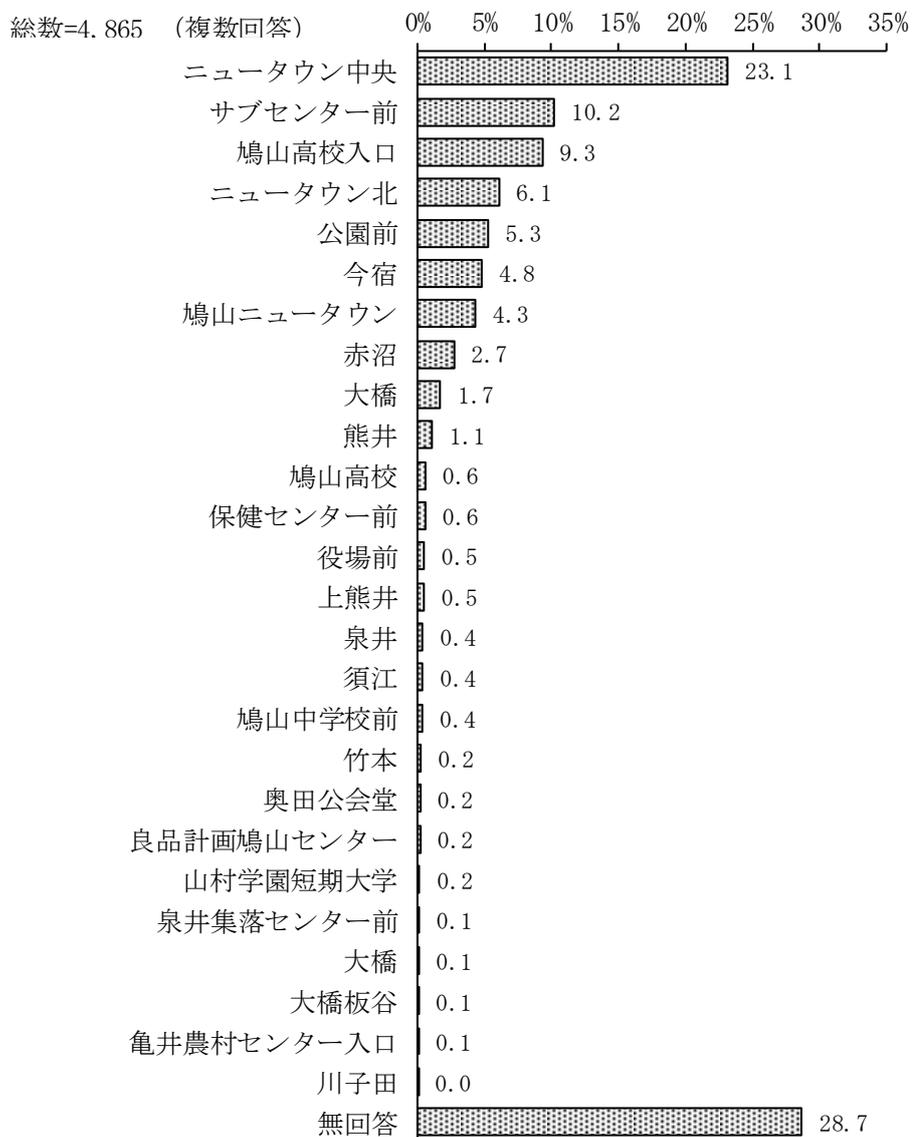


図 2-11 普段利用する路線バスの自宅最寄りの停留所

(3) 町内循環バスの自宅最寄りの停留所

「サブセンター前」が2.4%で最も多く、「図書館前」が1.8%、「今宿コミュニティセンター」が1.8%、「ジャンボ公園前」が1.7%と続く。

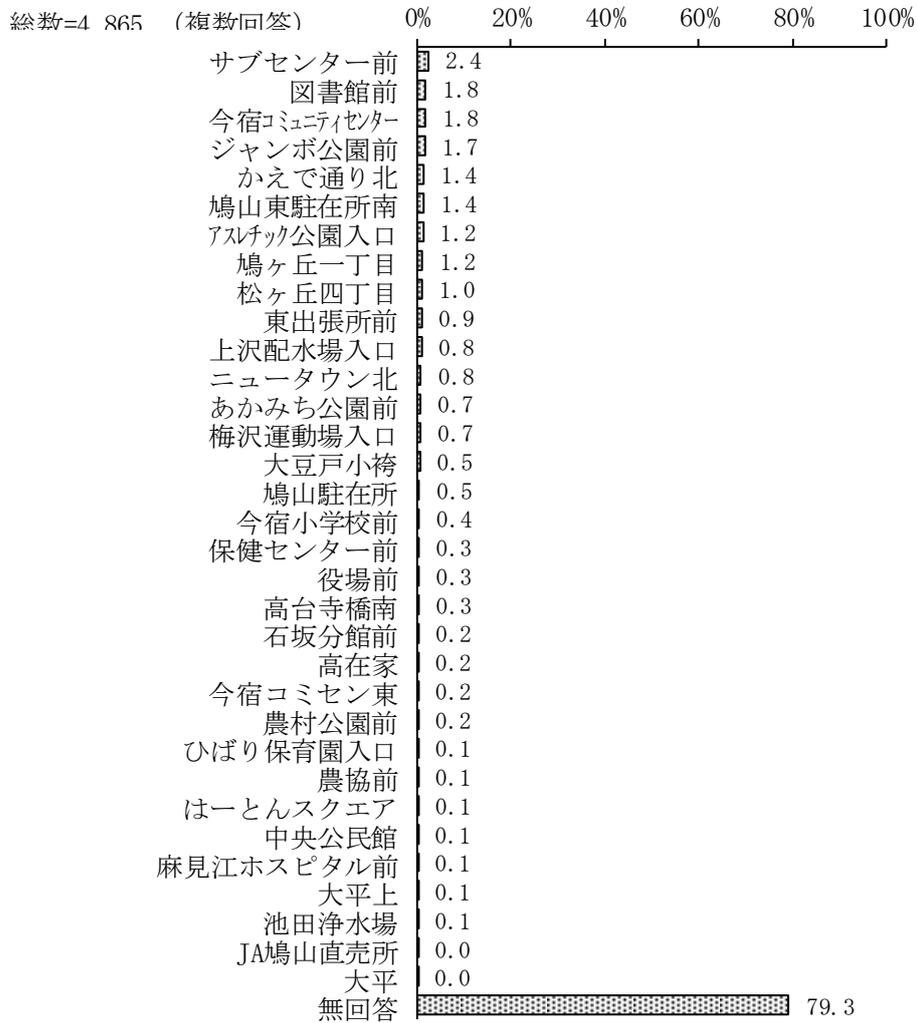


図 2-12 普段利用する町内循環バスの自宅最寄りの停留所

2.2. 外出状況

2.2.1. 外出目的

(1) 平日

「買物」が34.0%で最も多く、「通院」が18.0%、「通勤・通学」が17.0%と続く。
平日では、通勤・通学および通院の割合が休日と比較して高い。

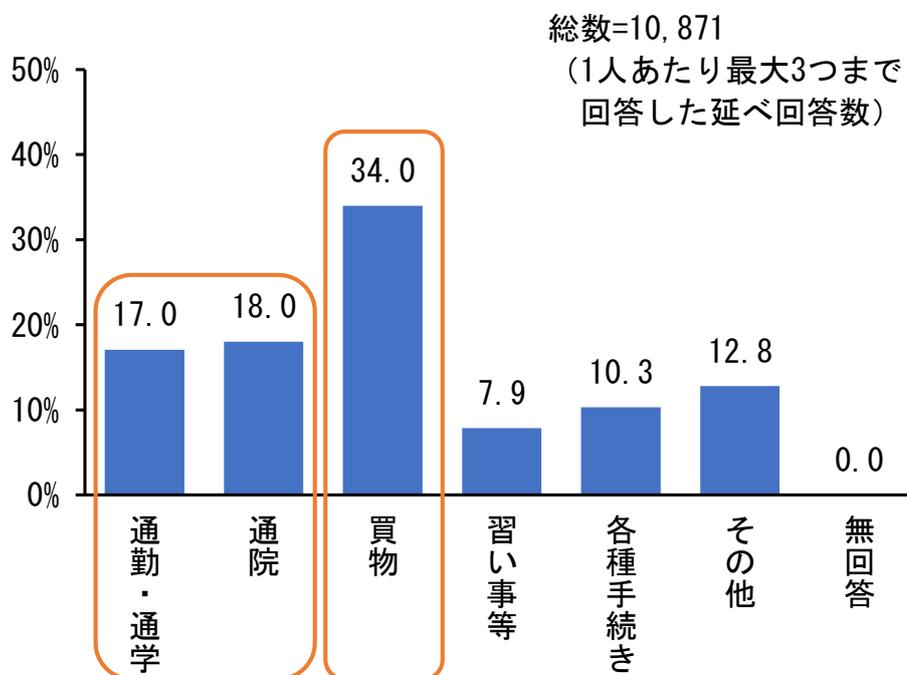


図 2-13 外出目的 (平日)

(2) 休日

「買物」が47.8%で最も多く、「その他」が21.5%、「通勤・通学」が9.0%、「通院」が8.3%と続く。

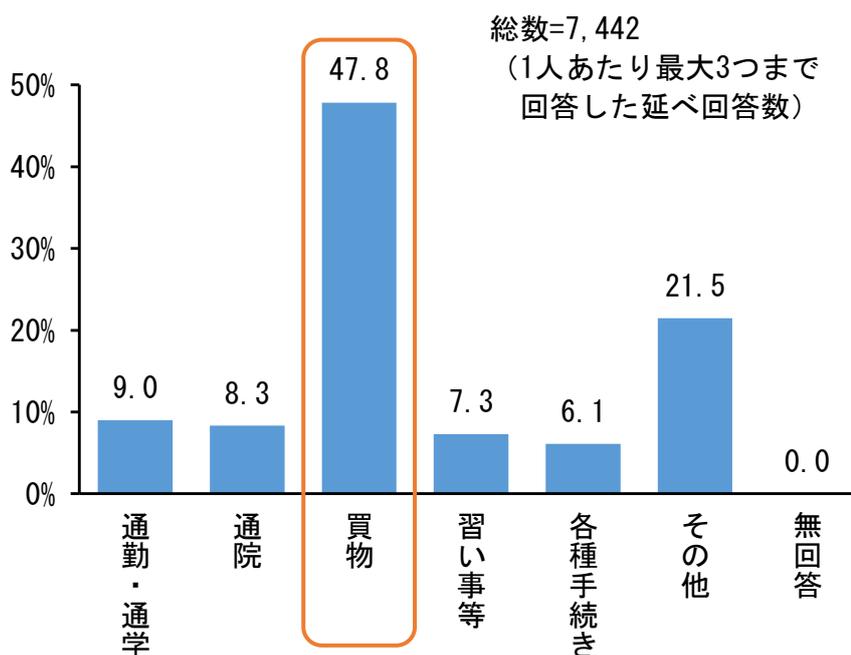


図 2-14 外出目的 (休日)

2.2.2. 外出頻度

(1) 平日

「週1～2回」が21.6%で最も多く、「週5回」が18.9%、「週3～4回」が18.0%、「月に1回未満」が15.2%と続く。

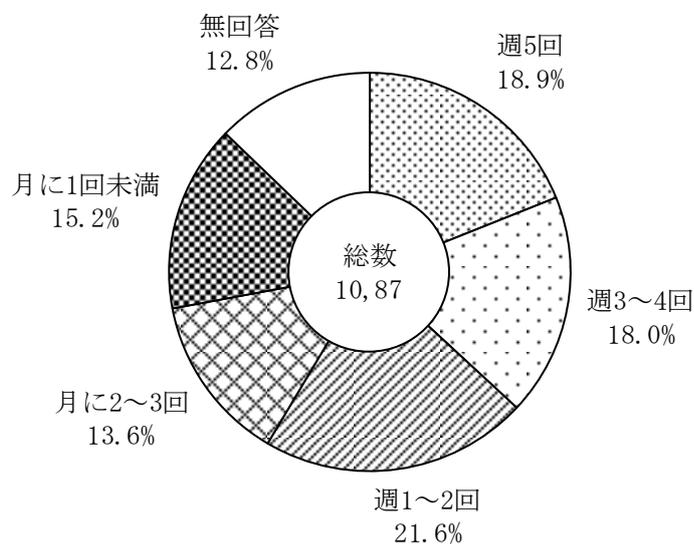


図 2-15 外出頻度（平日）

(2) 休日

「週3～4回」が25.1%で最も多く、「週5回」が23.9%、「週1～2回」が21.8%、「月に2～3回」が12.8%と続く。

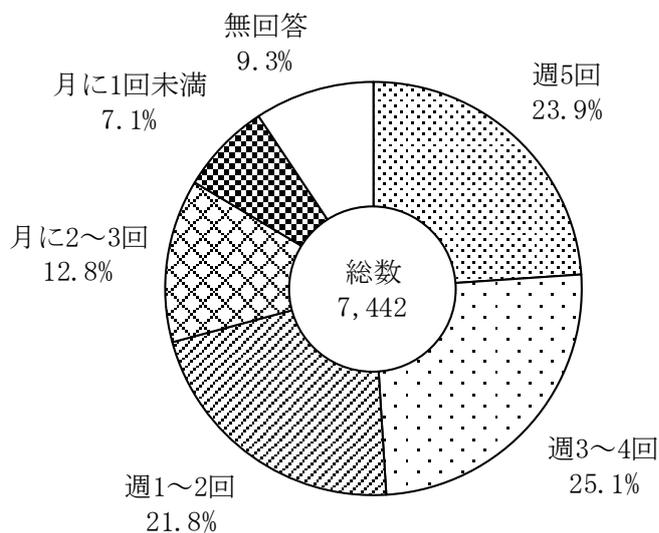


図 2-16 外出頻度（休日）

2.2.3. 外出先

(1) 平日

a) 回答者数

回答者数で見ると、最も多いのが「東松山市(高坂駅周辺以外の地域)、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面」で1130件の回答だった。

次いで「松ヶ丘」が997件、「生鮮食品 TOP」や「坂戸駅周辺」が876件、875件である。

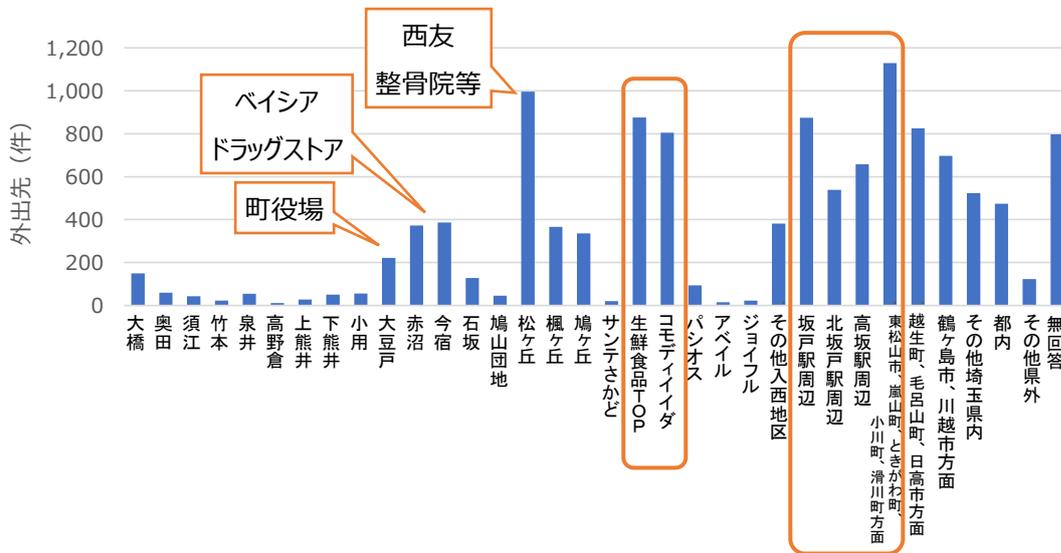


図 2-17 外出先の回答者数 (平日)

b) 移動頻度を考慮した1日あたりの外出者数

移動頻度を考慮した1日当たりの外出者数で見ると、平日の外出先は、以下の地域が多い。

- 鳩山町内：松ヶ丘
- 入西地区：生鮮食品TOP、コモディイイダ
- その他鳩山町外：高坂駅以外の東松山市、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面、坂戸駅周辺

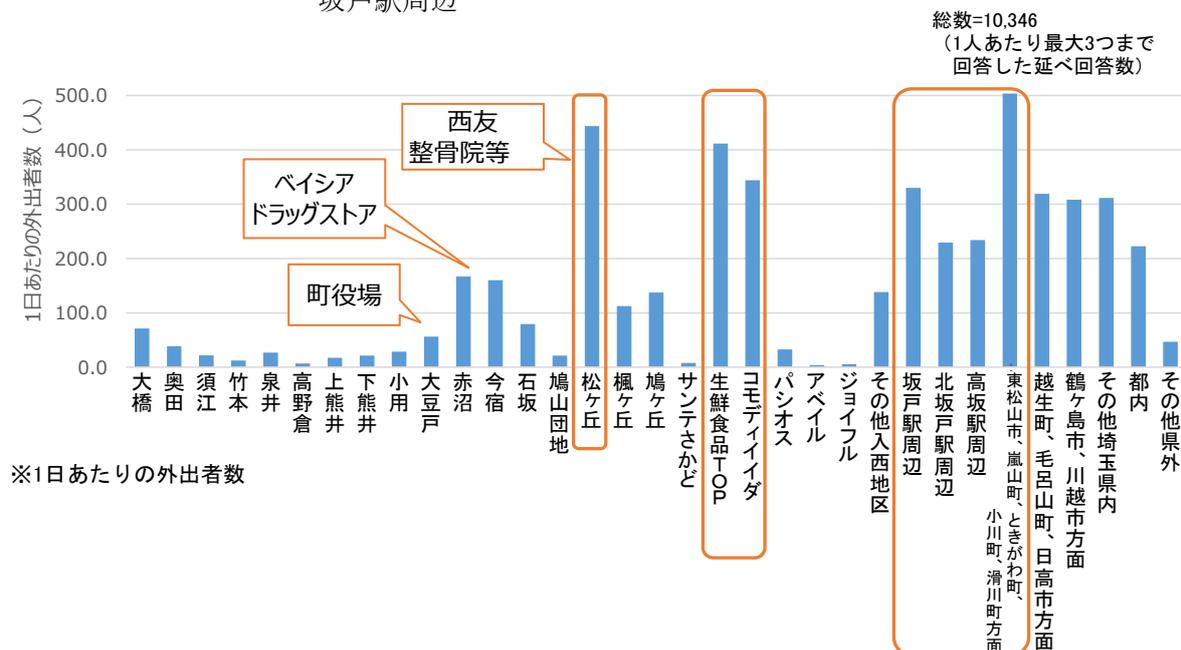


図 2-18 外出先：移動頻度を考慮した1日あたりの外出者数 (平日)

(2) 休日

a) 回答者数

回答者数で見ると、最も多いのが「東松山市(高坂駅周辺以外の地域)、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面」で929件だった。

次いで「生鮮食品 TOP」が721件、「高坂駅周辺」が890件である。

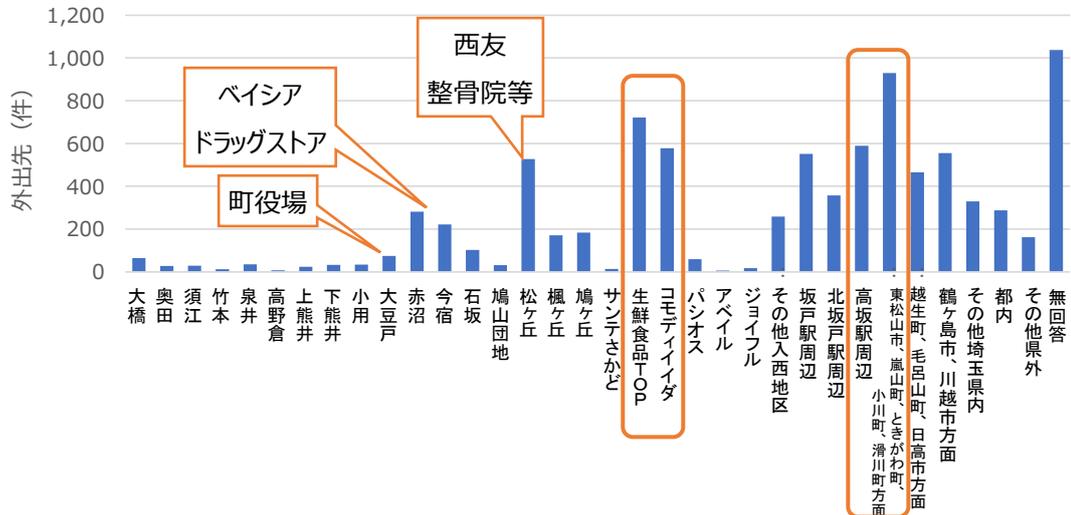


図 2-19 外出先の回答者数 (休日)

b) 移動頻度を考慮した1日あたりの外出者数

移動頻度を考慮した1日当たりの外出者数で見ると、休日の主な外出先は以下のとおり。

- 鳩山町内：松ヶ丘
- 入西地区：生鮮食品TOP、コモディイイダ
- その他鳩山町外：高坂駅以外の東松山市、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面、高坂駅周辺、坂戸駅周辺

外出先の傾向は平日と類似しているが、平日と比較して松ヶ丘の外出が少なく、高坂駅周辺の外出が多くなる傾向が見られる

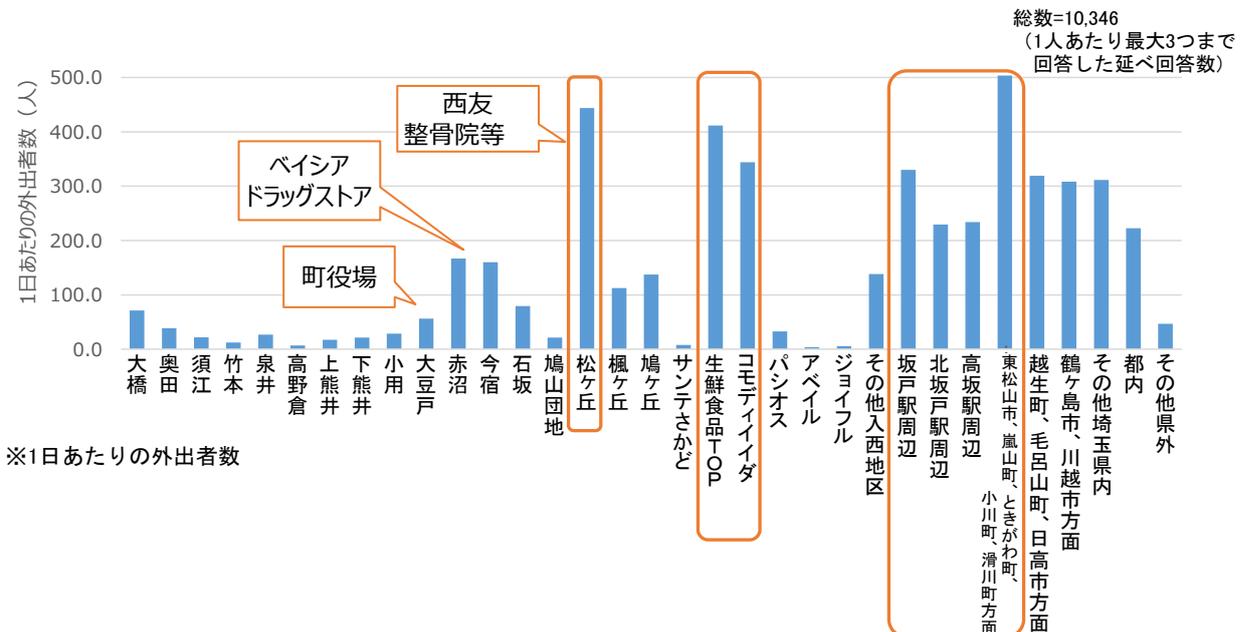


図 2-20 外出先：移動頻度を考慮した1日あたりの外出者数 (休日)

2.2.4. 出発時間帯

(1) 平日

「10～11時台」が26.4%で最も多く、「9時台」が13.3%、「14～15時台」が11.0%、「12～13時台」が9.0%と続く。

総数=10,871

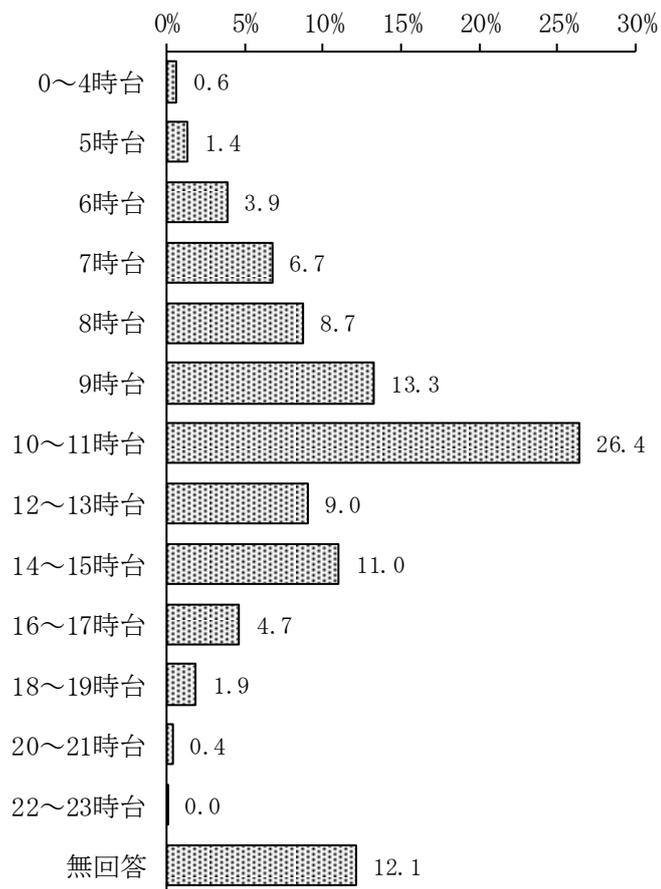


図 2-21 出発時間帯（平日）

(2) 休日

「10～11時台」が32.8%で最も多く、「9時台」が13.8%、「12～13時台」が12.3%、「14～15時台」が12.0%と続く。

総数=7,442

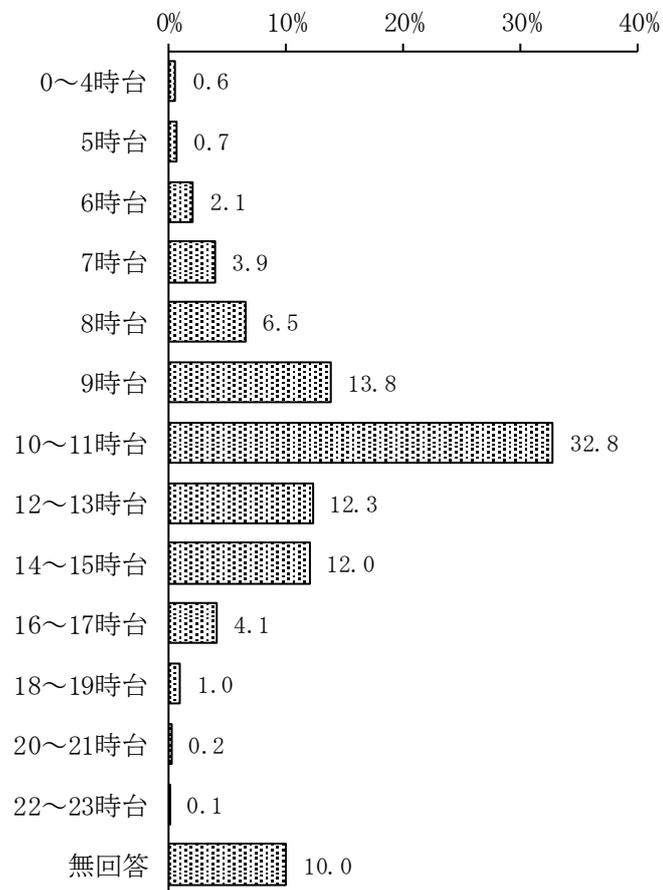


図 2-22 出発時間帯（休日）

2.2.5. 帰宅時間帯

(1) 平日

「12～13 時台」が 19.6%で最も多く、「16～17 時台」が 18.0%、「14～15 時台」が 14.4%、「18～19 時台」が 12.5%と続く。

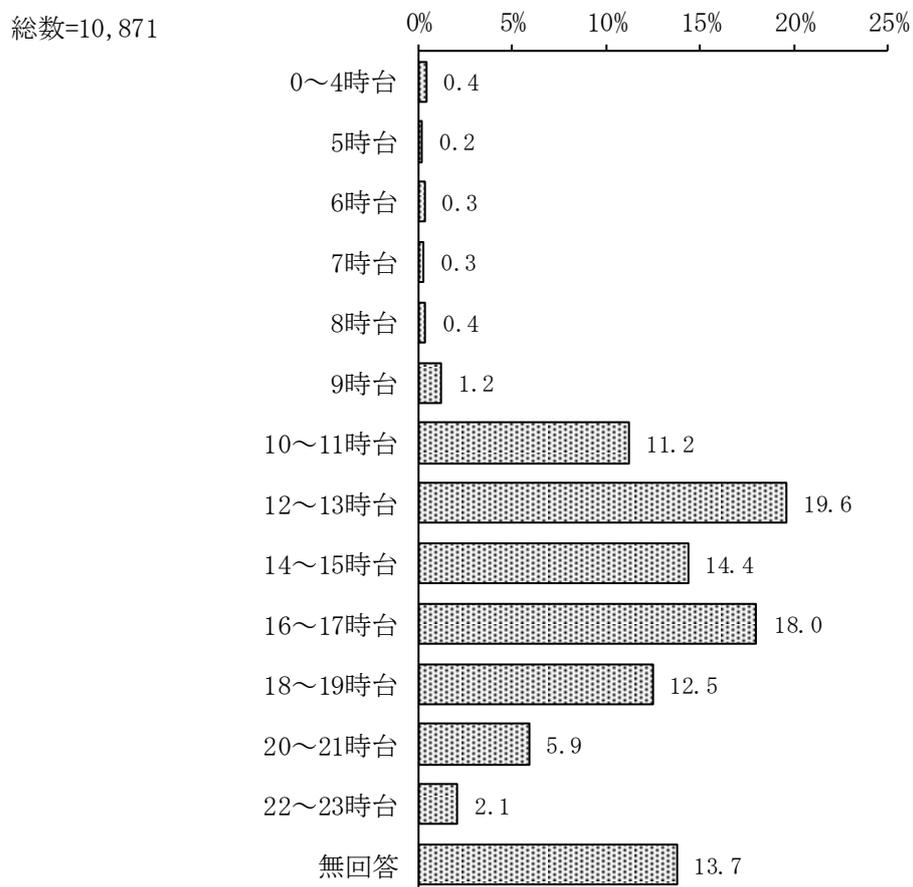


図 2-23 帰宅時間帯（平日）

(2) 休日

「12～13 時台」が 21.6%で最も多く、「16～17 時台」が 20.1%、「14～15 時台」が 17.6%、「18～19 時台」が 11.0%と続く。

総数=7,442

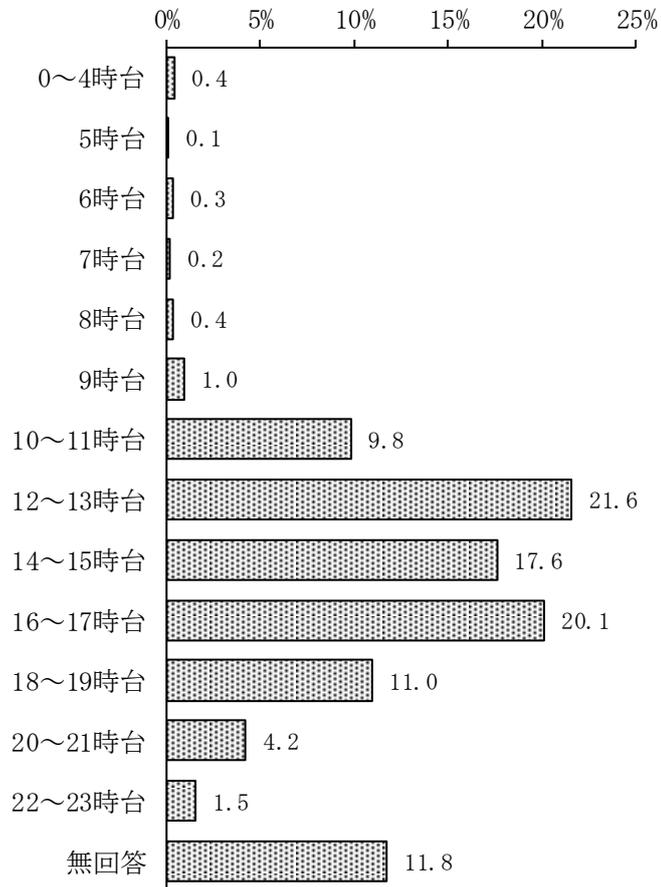


図 2-24 帰宅時間帯（休日）

2.2.6. 移動手段

(1) 平日

「自動車（自分で運転）」が54.6%で最も多く、「路線バス」が12.1%、「鉄道」が11.2%、「自動車（送迎）」が9.3%と続く。

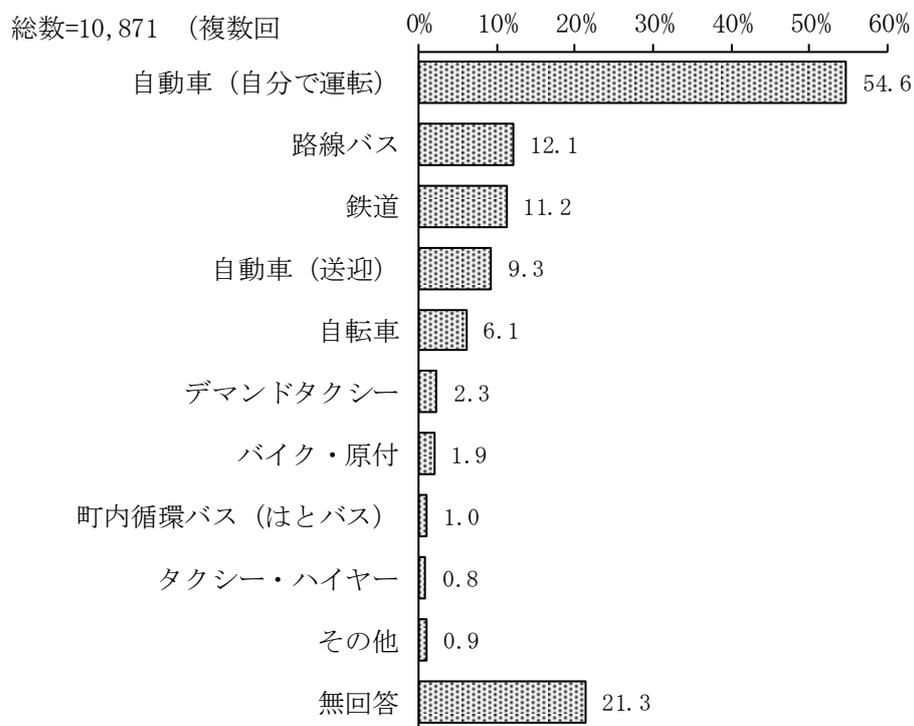


図 2-25 移動手段（平日）

(2) 休日

「自動車（自分で運転）」が57.6%で最も多く、「自動車（送迎）」が11.0%、「路線バス」が10.0%、「鉄道」が9.4%と続く。

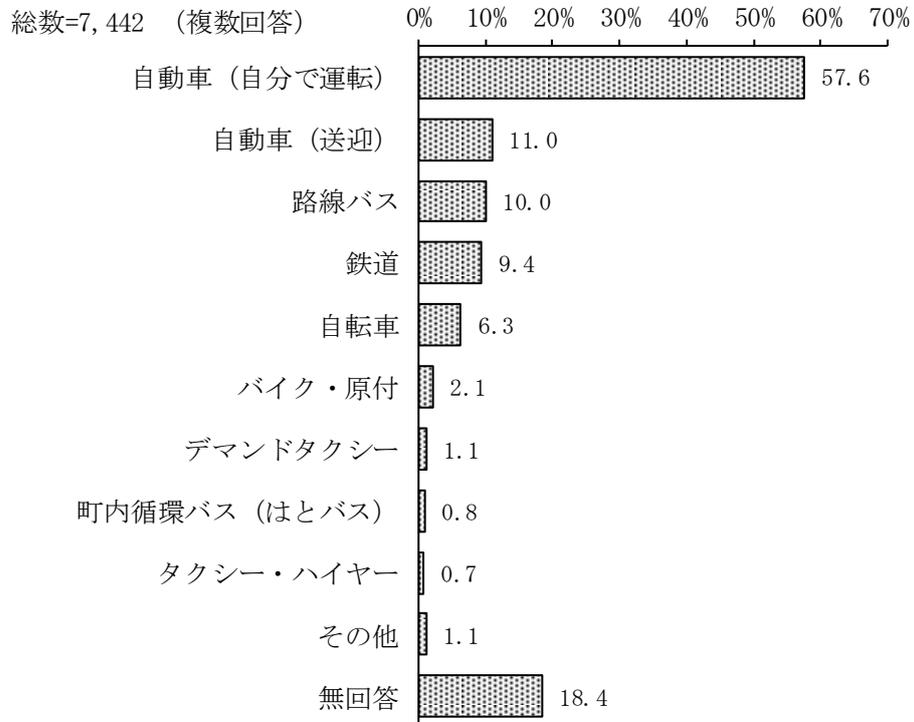


図 2-26 移動手段（休日）

2.2.7. 町外への移動の状況

(1) 町外への外出目的

a) 平日

入西地区では、商業施設への買い物目的が多い

その他の外出先は、通勤・通学目的や通院・買い物目的が多い

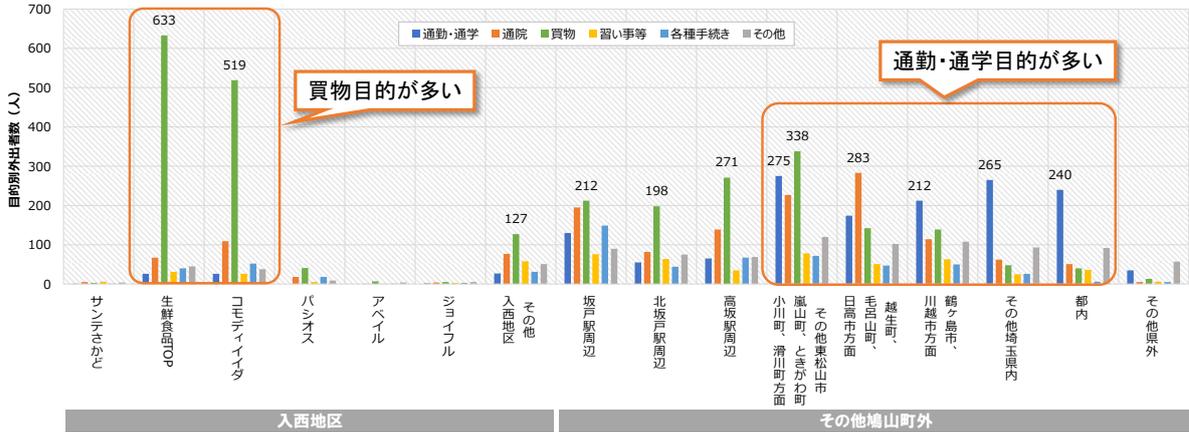


図 2-27 町外への外出目的（平日）

a) 休日

入西地区では、商業施設への買い物目的が多い

その他の外出先は、平日と比較して通勤・通学や通院目的が少なく、買い物目的が多くなる傾向が見られる

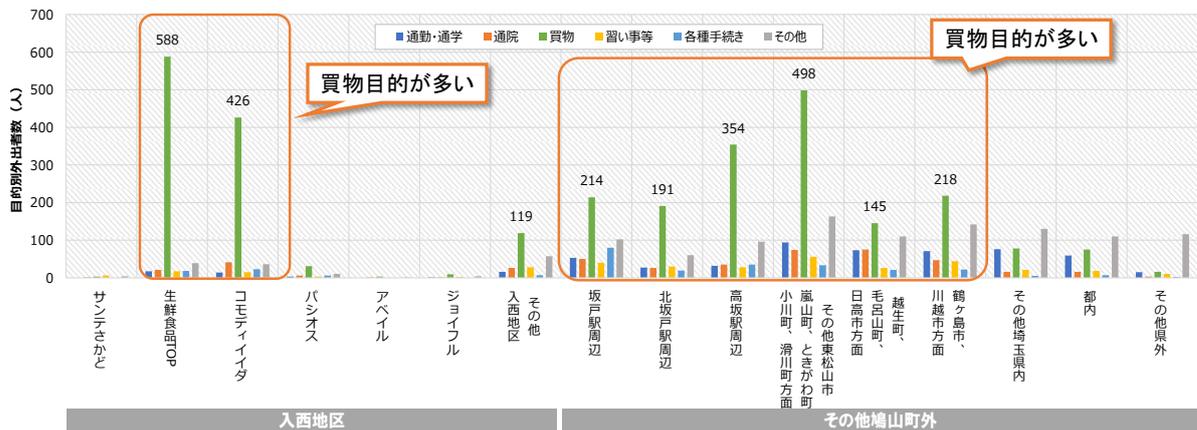
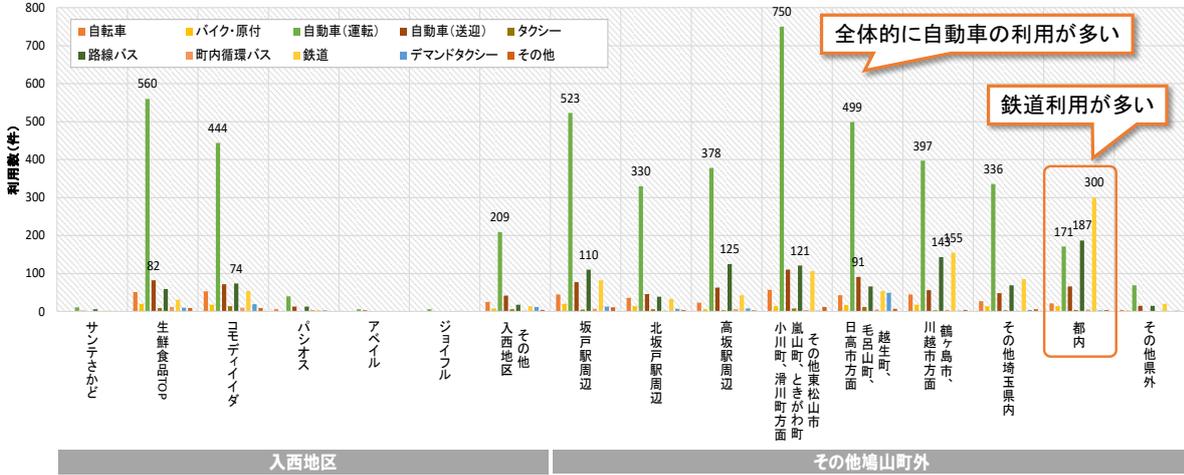


図 2-28 町外への外出目的（休日）

(2) 町外への移動手段

a) 平日

町外への移動手段は、自動車（運転）利用が大半を占める
 都内への移動では、鉄道利用が最も多い



※移動手段は、1つの外出状況に対して最大3つまで挙げられた移動手段の回答をすべて集計

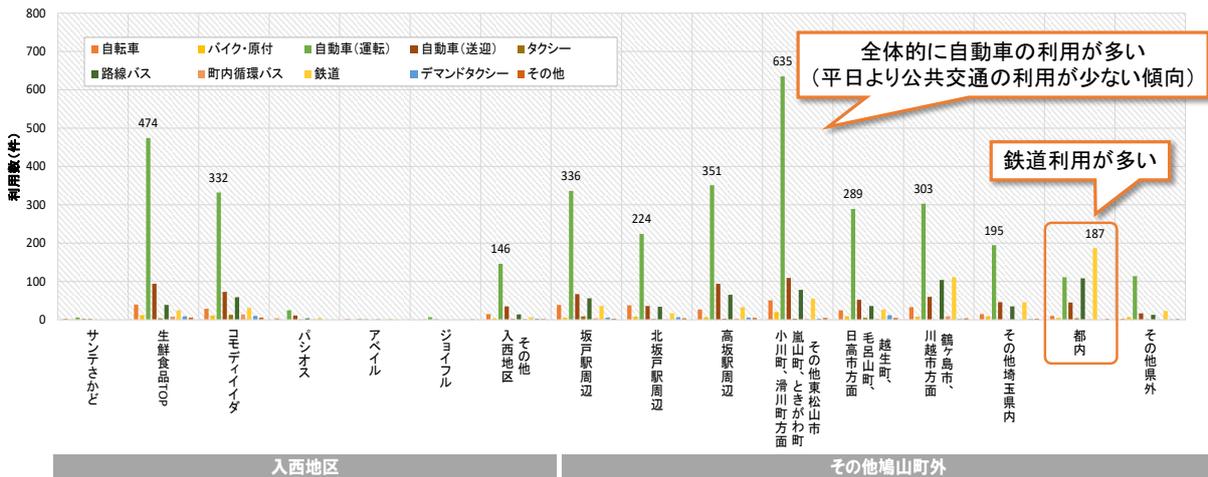
10

図 2-29 町外への移動手段（平日）

b) 休日

町外への移動手段は、自動車（運転）利用が大半を占め、平日と比較して公共交通による移動が少ない傾向が見られる

都内への移動では、平日と同様に鉄道利用が最も多い



※移動手段は、1つの外出状況に対して最大3つまで挙げられた移動手段の回答をすべて集計

11

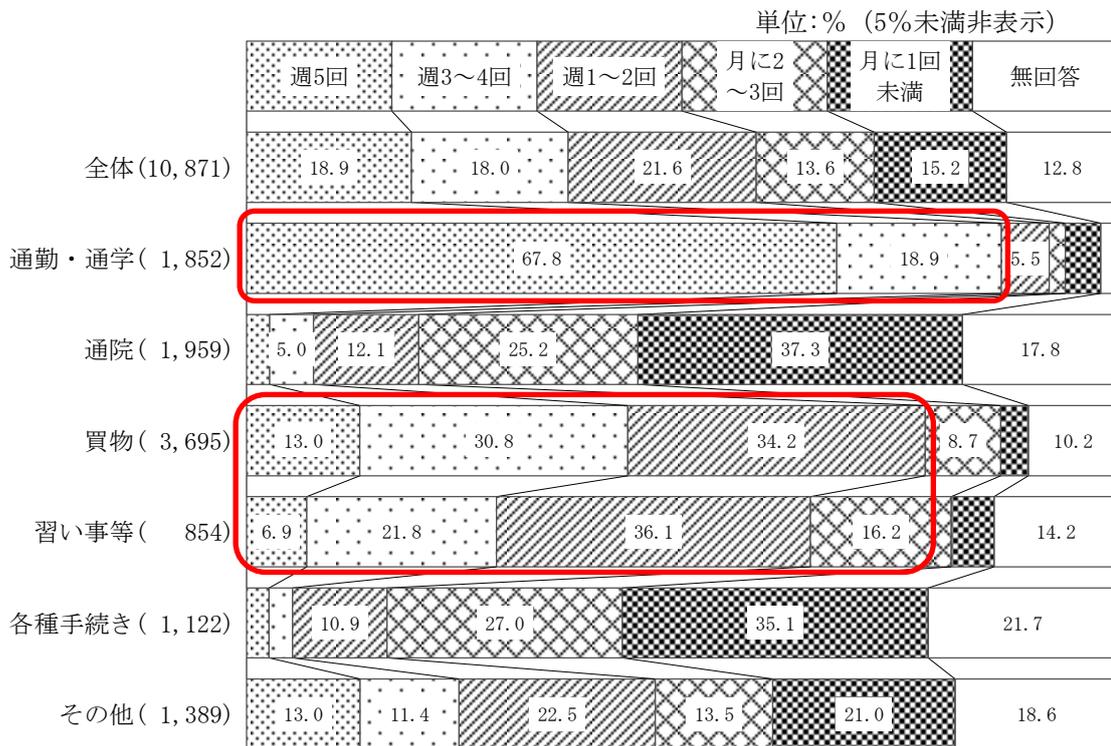
図 2-30 町外への移動手段（休日）

2.2.8. 目的別の外出状況

(1) 外出頻度

■ 平日

- 「通勤・通学」では「週5回」が最も多く67.8%。次に頻度が高いのが「買い物」「習い事」で、それぞれ「週3~4回」が30.8%、21.8%、「週1~2回」が34.2%、36.1%。
- 「通院」や「各種手続き」は頻度が低い傾向にあり、それぞれ「月に2~3回」が25.2%、27.0%、「月に1回未満」が37.3%、35.1%。

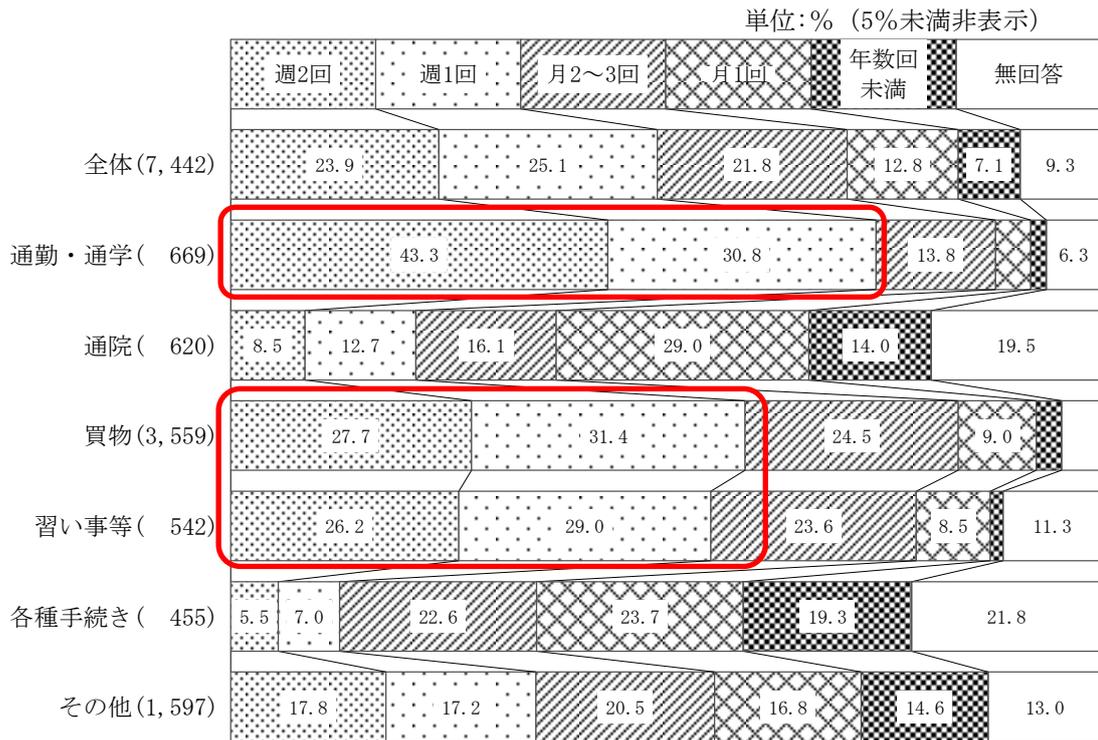


(注) 5%未満数値：通勤・通学(1.8 4.0 1.9)通院(2.7)買い物(3.2)習い事等(4.9)各種手続き(2.6 2.7)

図 2-31 目的別の外出頻度：構成比（平日）

■ 休日

- 「通勤・通学」では「週2回」もしくは「週1回」の合計が74.1%。次に頻度が高いのは「買い物」「習い事」で、それぞれ「週1回」が31.4%、29.0%、「週2回」が27.7%、26.2%。
- 「通院」や「各種手続き」は頻度が低い傾向にあり、それぞれ「月に1回」が29.0%、23.7%、「月に2～3回」が16.1%、22.6%。



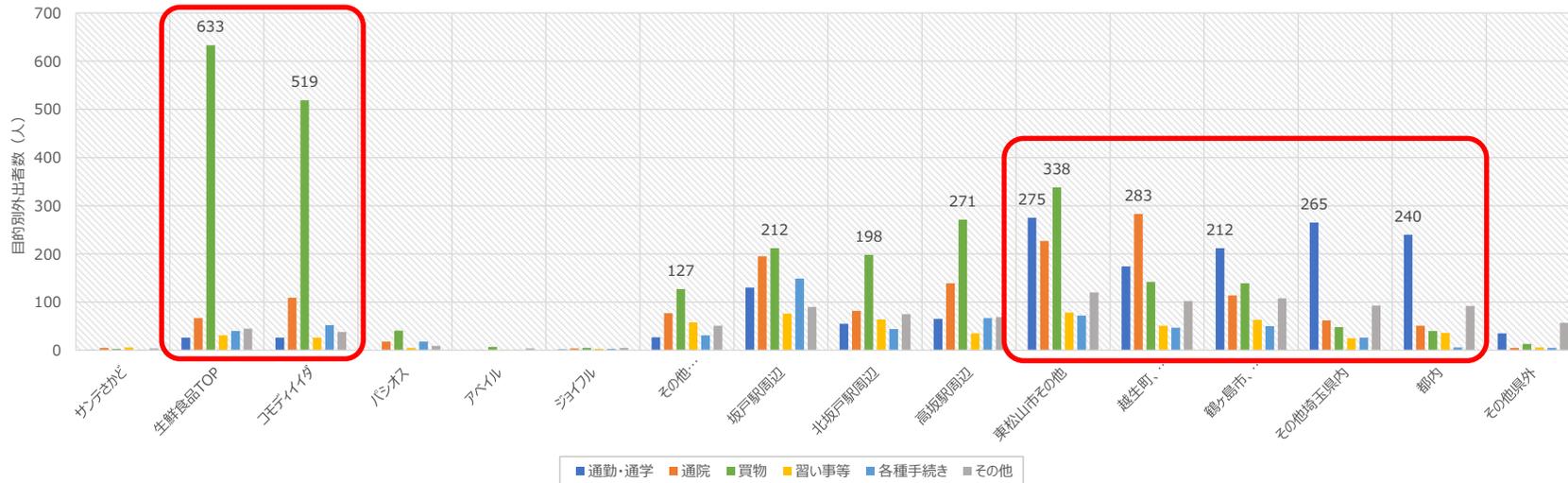
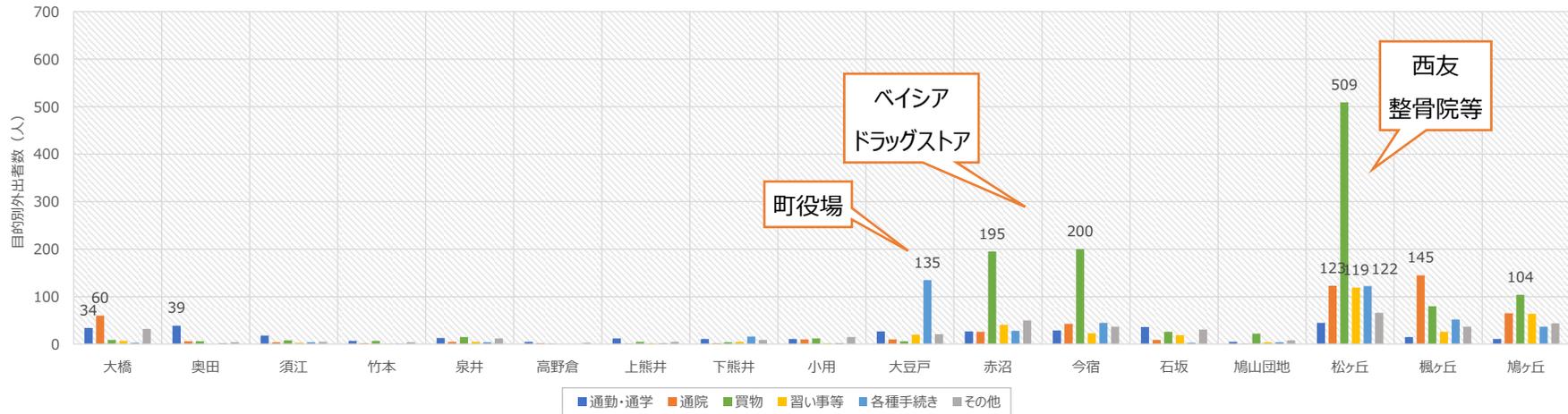
(注) 5%未満数値：通勤・通学(4.0 1.8)買い物(2.9 4.6)習い事等(1.5)

図 2-32 目的別の外出頻度：構成比（休日）

(2) 外出先

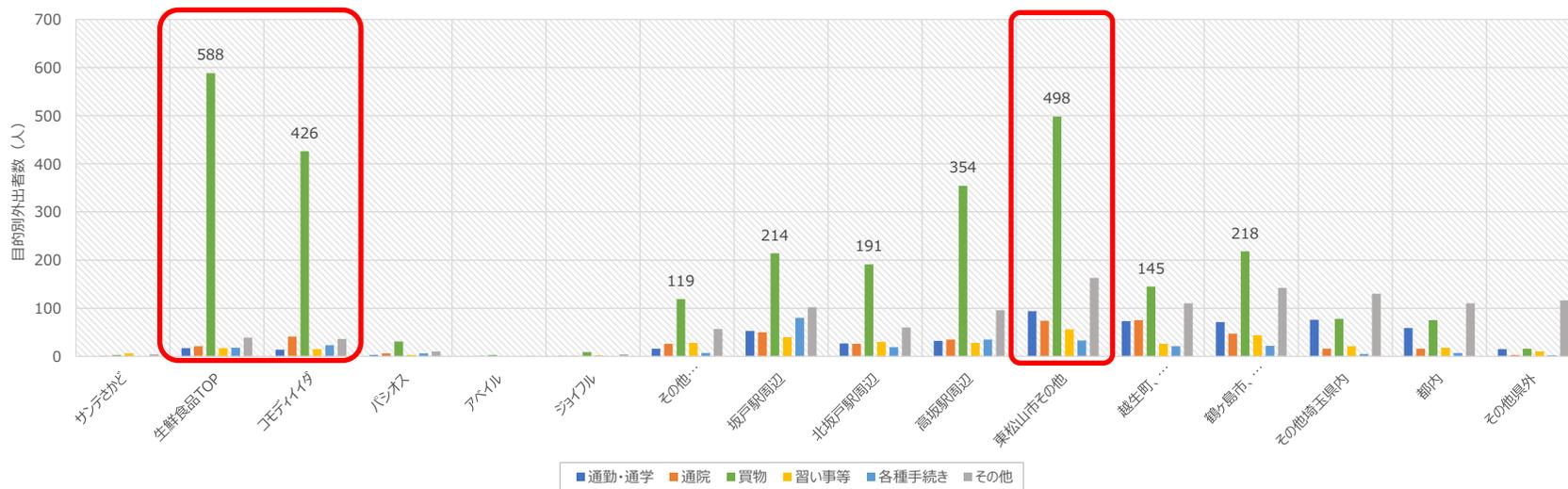
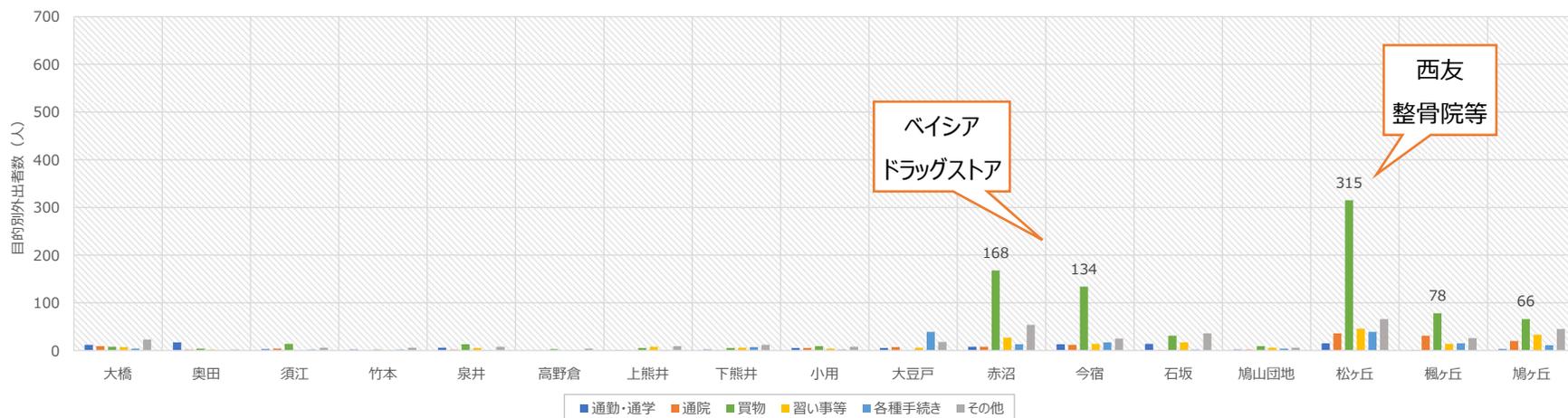
■ 平日

- 町内では、松ヶ丘や赤沼・今宿等の商業施設が集積している地域への買い物目的が多い。
- 町外では、坂戸市入西地区の商業施設への買い物目的のほか、東松山市内方面や埼玉県内・都内への通勤目的が多い。



■ 休日

- 町内・町外ともに、買い物目的が多い。
- 町内では、松ヶ丘や赤沼・今宿等の商業施設が集積している地域へ、町外では、坂戸市入西地区の商業施設のほか東松山市内方面へが多い。



(3) 出発、帰宅時間

■ 平日

- 通勤・通学の出発は7時台が、帰宅は18～19時台が最も多い。
- 買い物や通院、習い事等、各種手続きについては、各店舗が開店する9時台・10～11時台の出発が多く、帰宅のピークまでの間隔が狭い傾向にある。

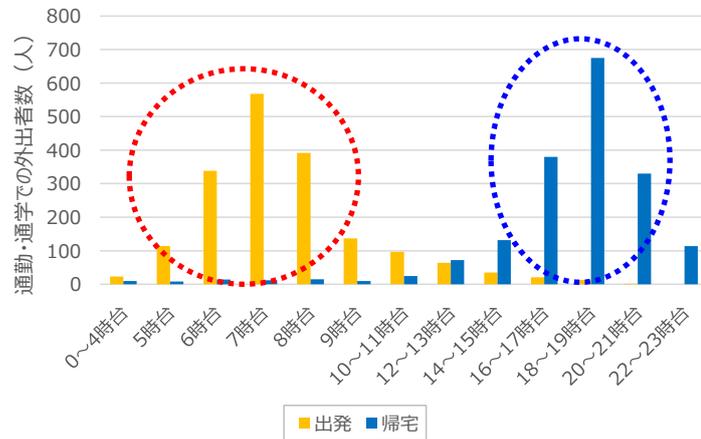


図 2-33 出発・帰宅時間帯：通勤・通学（平日）

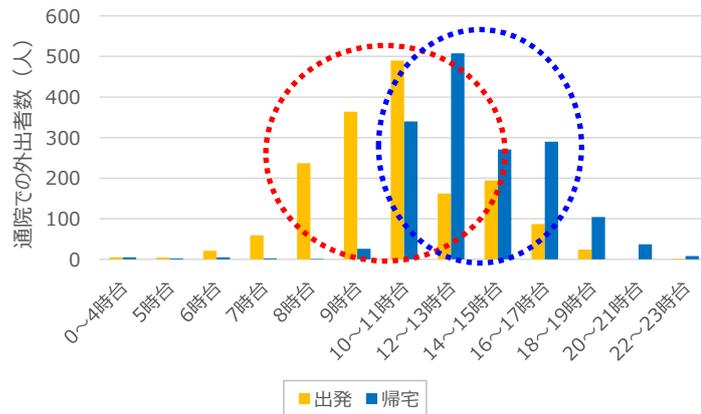


図 2-34 出発・帰宅時間帯：通院（平日）

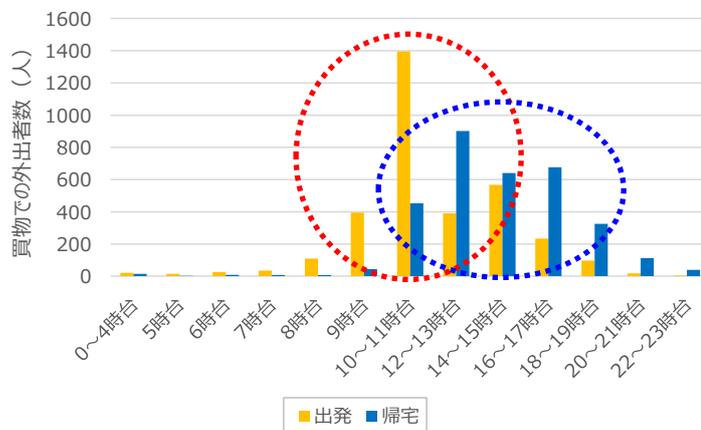


図 2-35 出発・帰宅時間帯：買い物（平日）

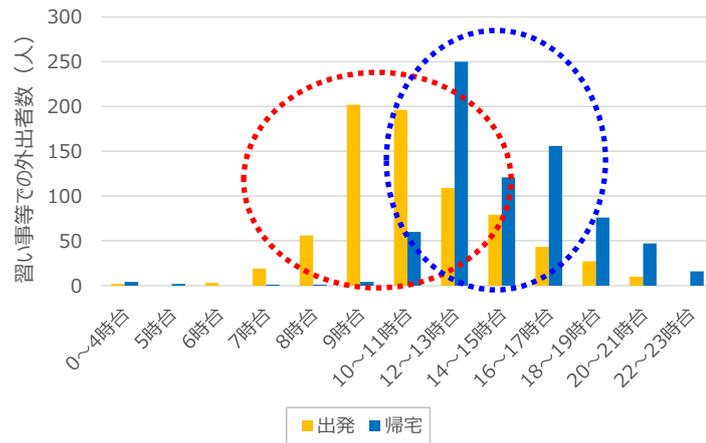


図 2-36 出発・帰宅時間帯：習い事（平日）

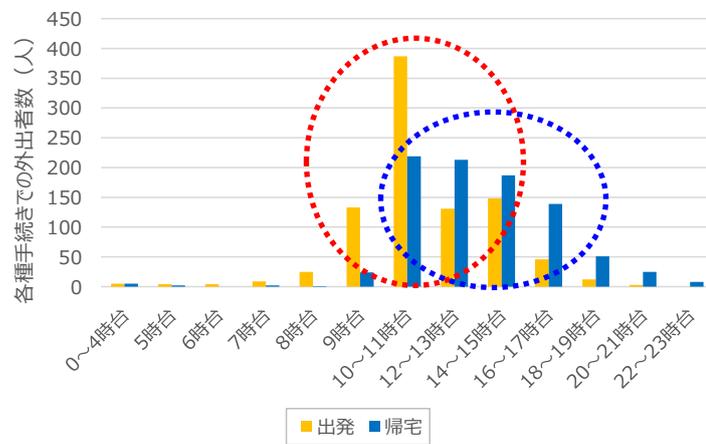


図 2-37 出発・帰宅時間帯：各種手続き（平日）

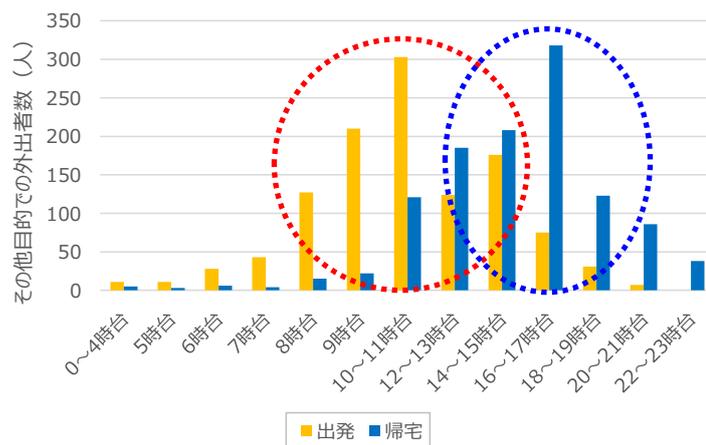


図 2-38 出発・帰宅時間帯：その他目的（平日）

■ 休日

- 通勤・通学の出発は7時台が、帰宅は18～19時台が最も多い。
- 買い物や通院、習い事等、各種手続きについては、各店舗が開店する9時台・10～11時台の出発が多く、帰宅のピークまでの間隔が狭い傾向にある。

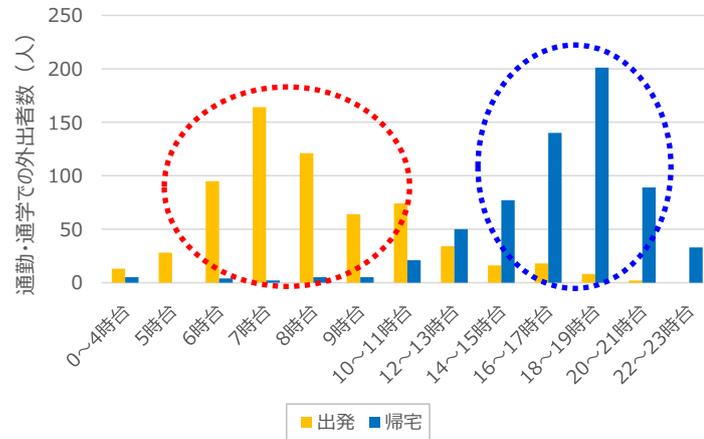


図 2-39 出発・帰宅時間帯：通勤・通学（休日）

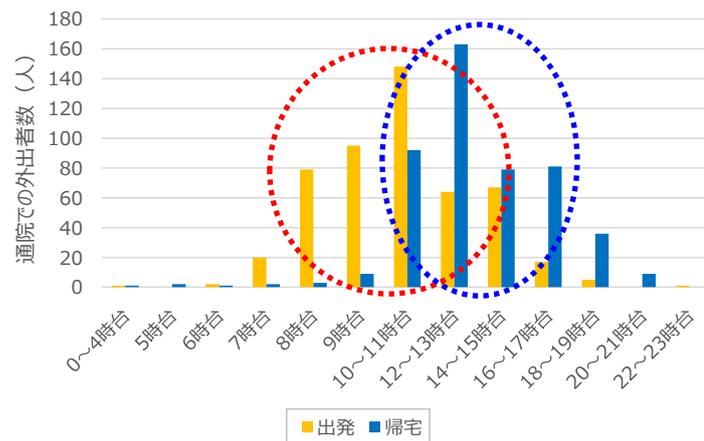


図 2-40 出発・帰宅時間帯：通院（休日）

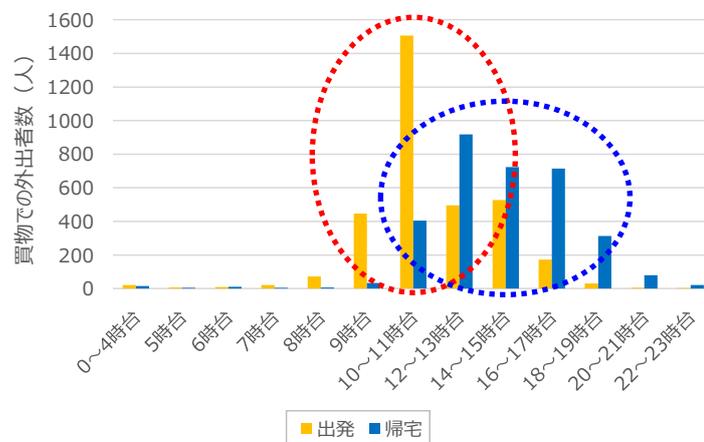


図 2-41 出発・帰宅時間帯：買い物（休日）

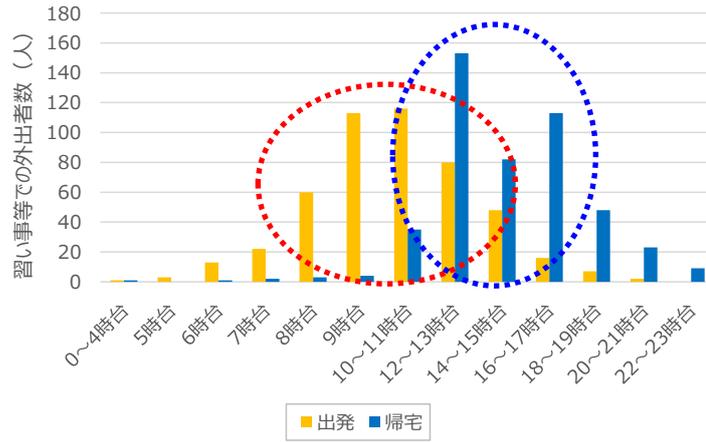


図 2-42 出発・帰宅時間帯：習い事（休日）

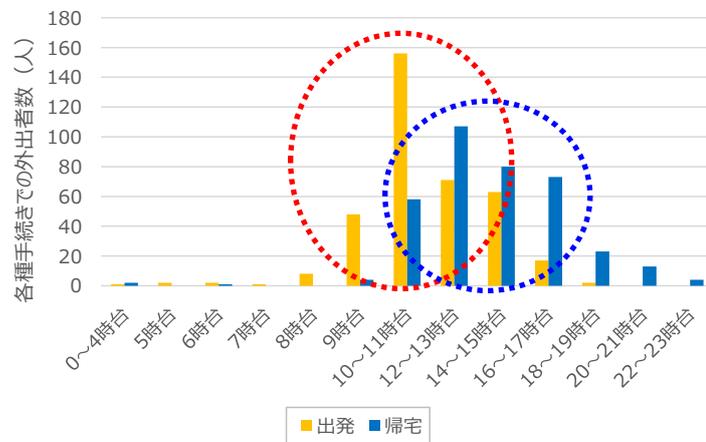


図 2-43 出発・帰宅時間帯：各種手続き（休日）

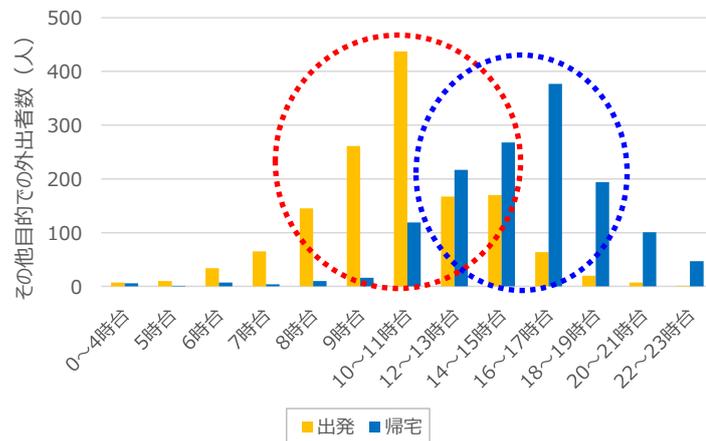


図 2-44 出発・帰宅時間帯：その他目的（休日）

(4) 移動手段

■ 平日

- 自動車（自分で運転）利用は、外出目的に関わらず圧倒的に多く、特に多いのが買い物、習い事等、各種手続き目的である。
- 自動車（自分で運転）利用が比較的少ないのは、通勤目的のみとなっている。

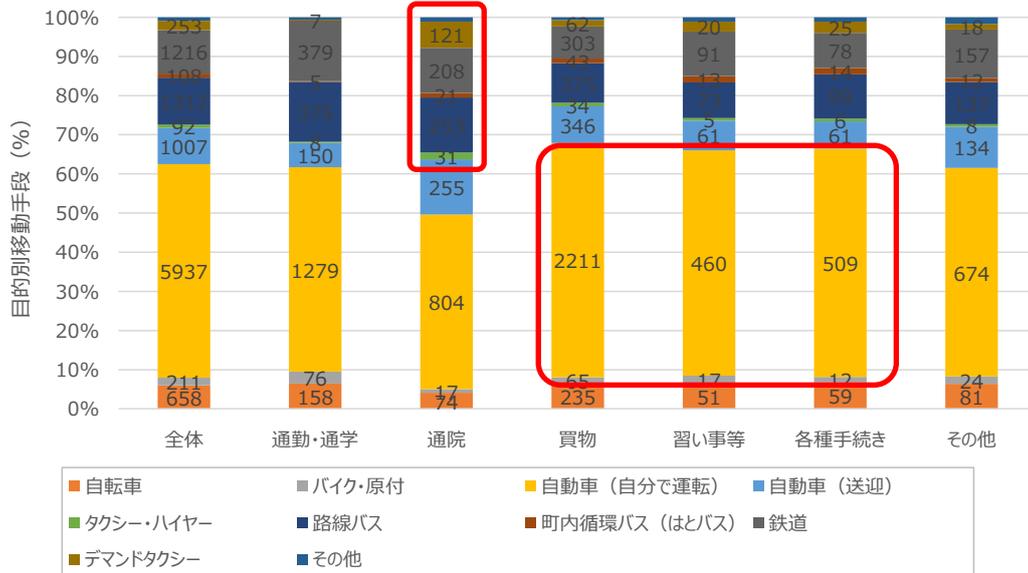


図 2-45 移動手段（平日）

■ 休日

- 自動車（自分で運転）利用は、外出目的に関わらず圧倒的に多く、特に多いのが買い物、習い事目的となっている。
- 自動車（自分で運転）利用が比較的少ないのは、通勤目的のみとなっている。

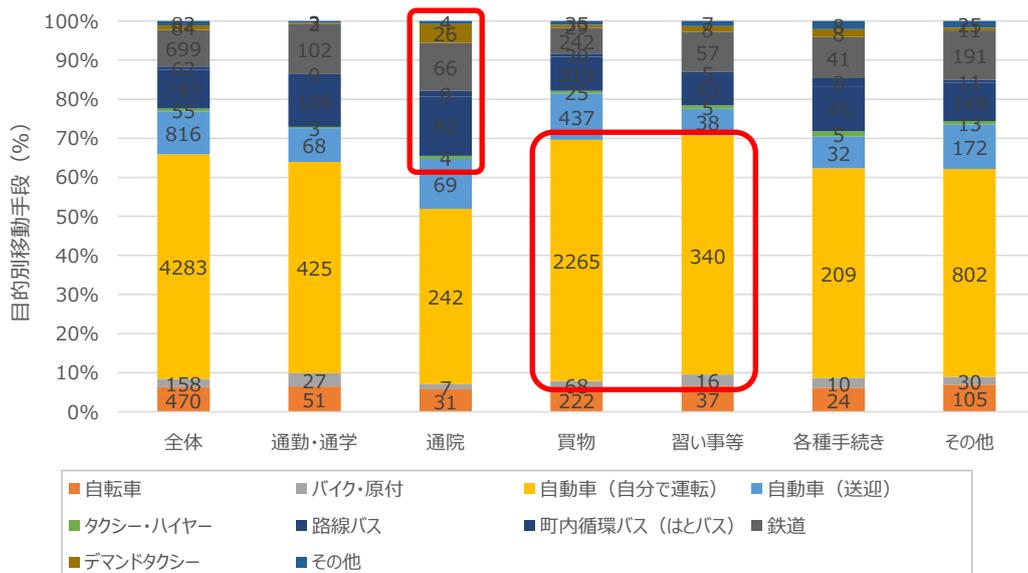


図 2-46 移動手段（休日）

2.3. あきらめている移動について

2.3.1. 移動をあきらめていることの有無

(1) 平日

「ない」は65.3%、「ある」は12.9%となっている。

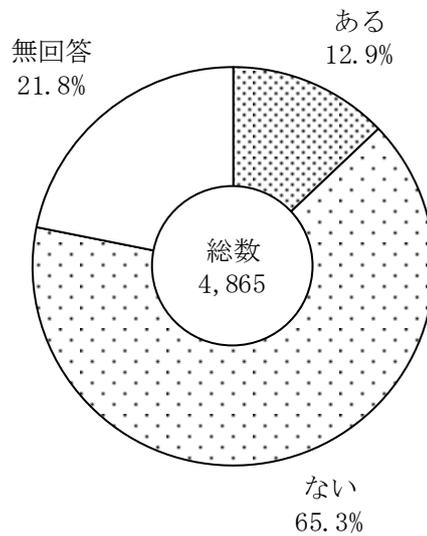


図 2-47 移動をあきらめていることの有無 (平日)

(2) 休日

「ない」は63.9%、「ある」は11.0%となっている。

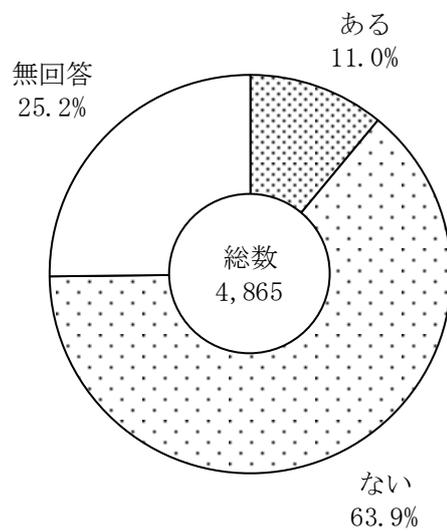


図 2-48 移動をあきらめていることの有無 (休日)

2.3.2. あきらめている外出先

(1) 平日

「コモディイイダ」が38.3%で最も多く、「生鮮食品 TOP」が31.3%、「その他につきあい地区」が20.3%、「坂戸駅」が19.3%と続く。

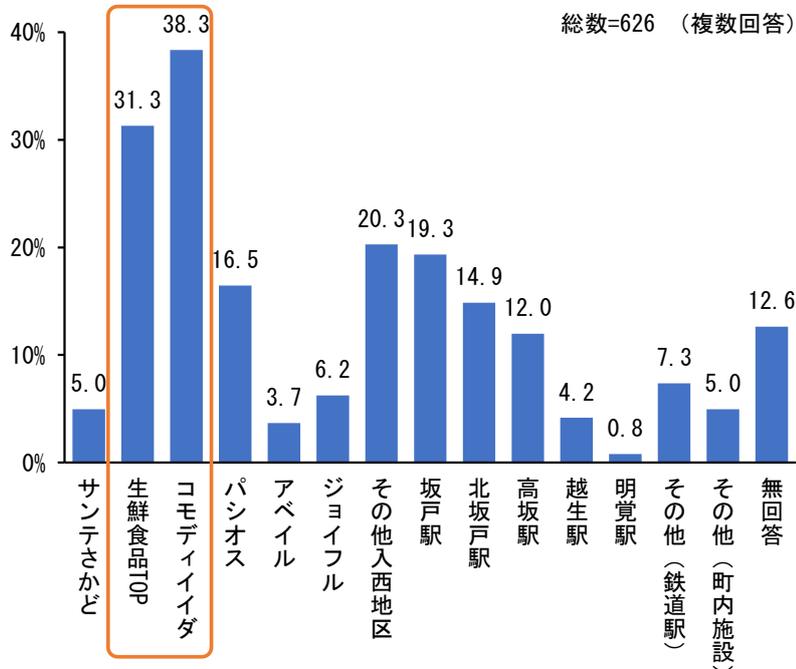


図 2-49 移動をあきらめている外出先 (平日)

(2) 休日

「コモディイイダ」が30.0%で最も多く、「生鮮食品 TOP」が25.3%、「坂戸駅」が17.8%、「その他につきあい地区」が13.7%と続く。

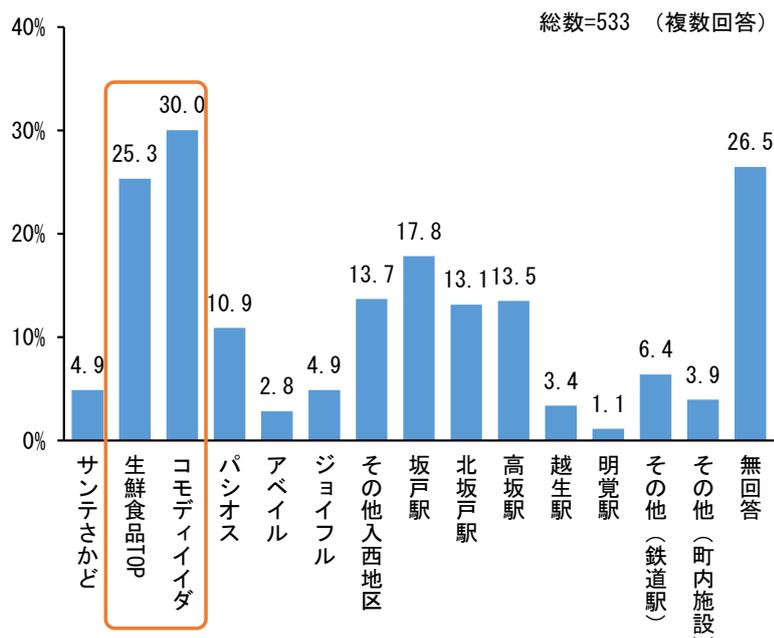


図 2-50 移動をあきらめている外出先 (休日)

2.4. デマンドタクシーのインターネット予約について

2.4.1. インターネットの利用状況

インターネットを利用していない人は、回答者全体の約2割で、70代以上の回答者の約3割だった。

インターネットの利用手段は、スマートフォンやパソコンが多い。

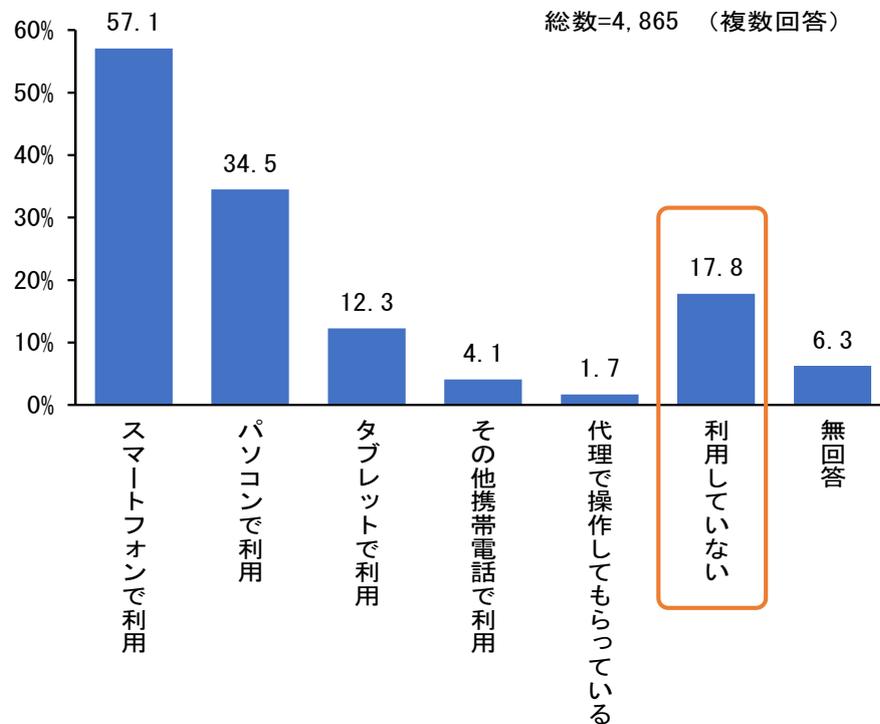


図 2-51 インターネットの利用状況 (全回答者)

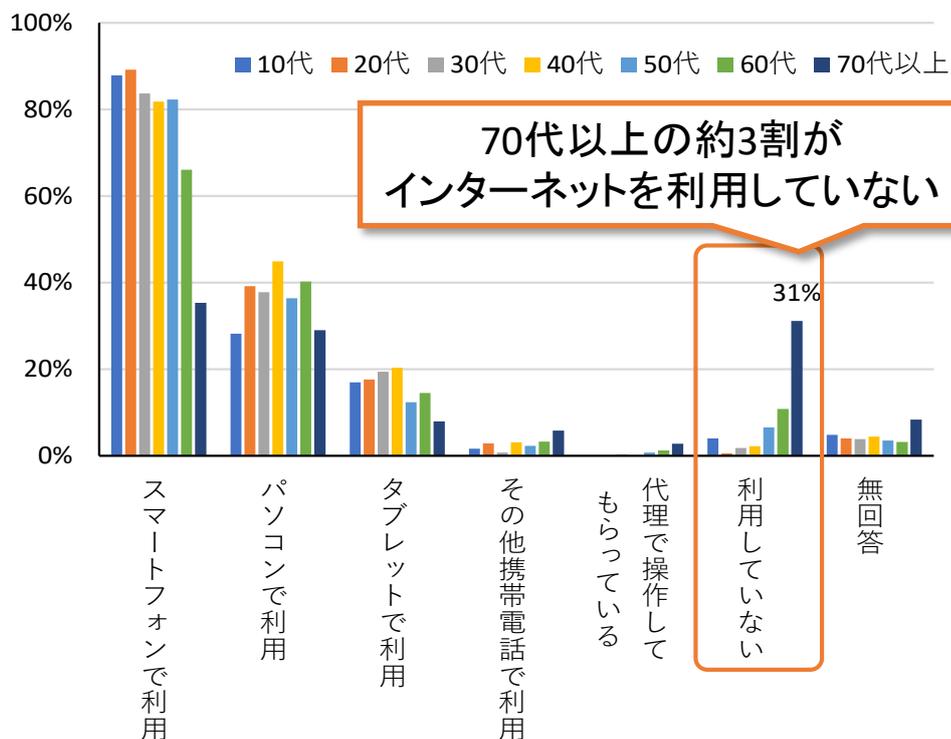


図 2-52 インターネットの利用状況 (年齢別)

2.4.2. インターネット予約の利用意向

デマンドタクシーのインターネット予約を実施した場合、「利用する」という回答は 22.4%、「利用しない」という回答は 66.7%となっている。

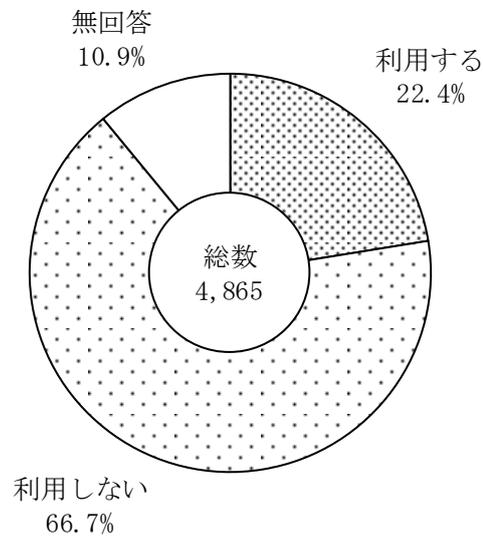


図 2-53 インターネット予約の利用意向（全回答者）

普段デマンドタクシーを利用している人に限定すると、インターネット予約を実施した場合、「利用する」という回答は 34%、「利用しない」という回答は 53%となっている。

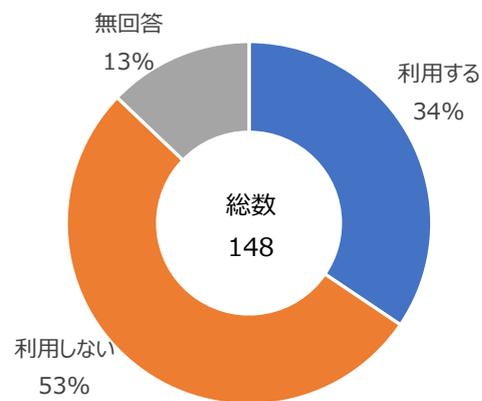


図 2-54 インターネット予約の利用意向（普段デマンドタクシーを利用している人）

2.5. 新型コロナウイルス発生前後の外出状況の変化

(1) 平日の外出頻度

a) 新型コロナウイルス発生前

「週5回」が45.6%で最も多く、「週3～4回」が27.1%、「週1～2回」が13.6%、「月に2～3回」が4.5%と続く。

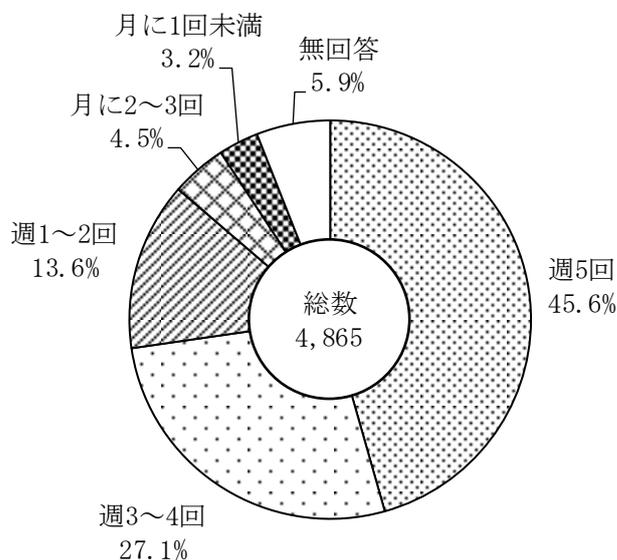


図 2-55 平日の外出頻度（新型コロナウイルス発生前）

b) 新型コロナウイルス発生後

「週5回」が34.6%で最も多く、「週3～4回」が26.3%、「週1～2回」が21.7%、「月に2～3回」が6.6%と続く。

新型コロナウイルス発生前と比較すると移動頻度は減少傾向であり、週3回以上の移動頻度の割合が減少し、週1～2回以下の移動頻度の割合が増加している。

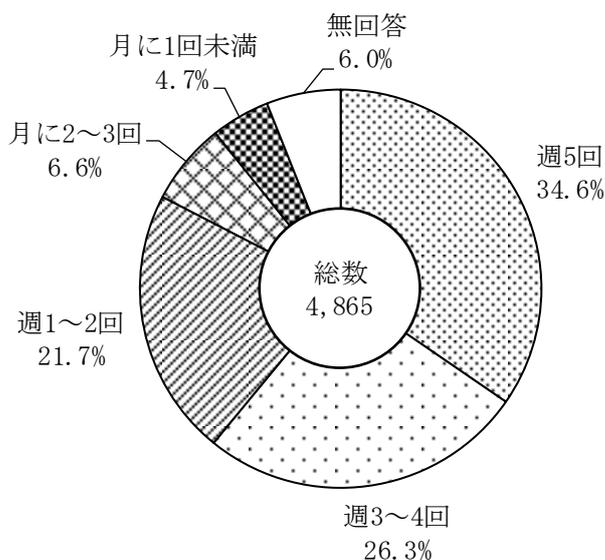


図 2-56 平日の外出頻度（新型コロナウイルス発生後）

(2) 休日の外出頻度

a) 新型コロナウイルス発生前

「週2回」が36.0%で最も多く、「週1回」が26.7%、「月に2～3回」が18.2%、「月に1回」が7.5%と続く。

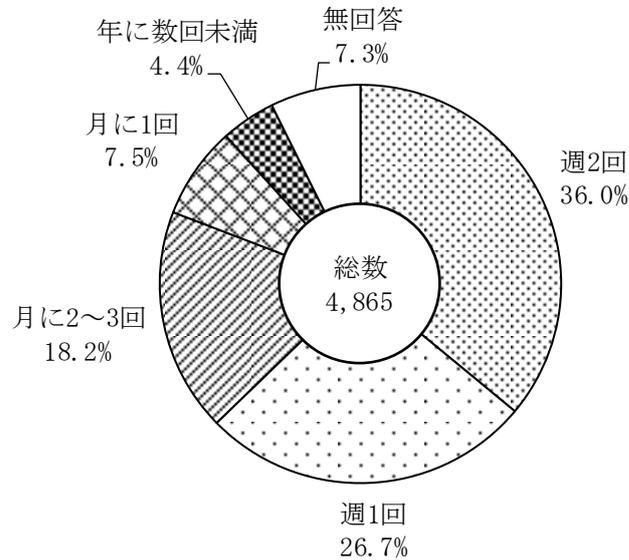


図 2-57 休日の外出頻度（新型コロナウイルス発生前）

b) 新型コロナウイルス発生後

「週2回」が27.9%で最も多く、「週1回」が26.9%、「月に2～3回」が16.9%、「月に1回」が13.1%と続く。

新型コロナウイルス発生前と比較すると移動頻度は減少傾向であり、週2回及び月に2～3回の移動頻度の割合が減少し、月に1回以下の移動頻度の割合が増加している。

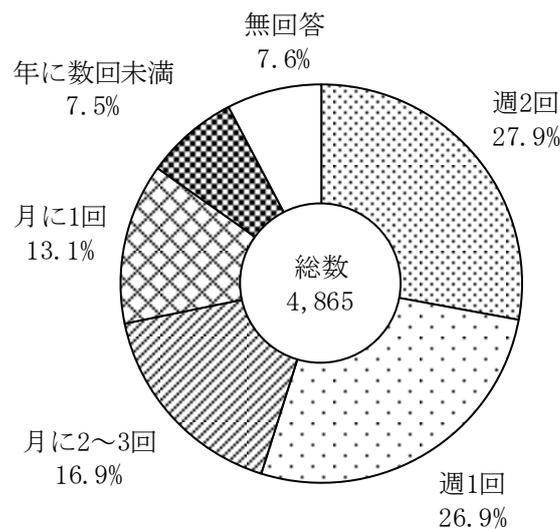


図 2-58 休日の外出頻度（新型コロナウイルス発生後）

2.6. デマンドタクシーの運営内容の変更について

2.6.1. 町内循環バスの廃止とデマンドタクシーへの置き換えについて

(1) 賛成・反対意見の状況

鳩山町の町内循環バスを廃止し、デマンドタクシーへの置き換えを行うことについて、賛成が反対を大きく上回っており、賛成と反対の比率で見ると賛成の割合が約 9 割、反対の割合が約 1 割となっている。なお賛成の 79%、反対の 69%、分からないの 84%は、循環バスを普段利用していない人である。

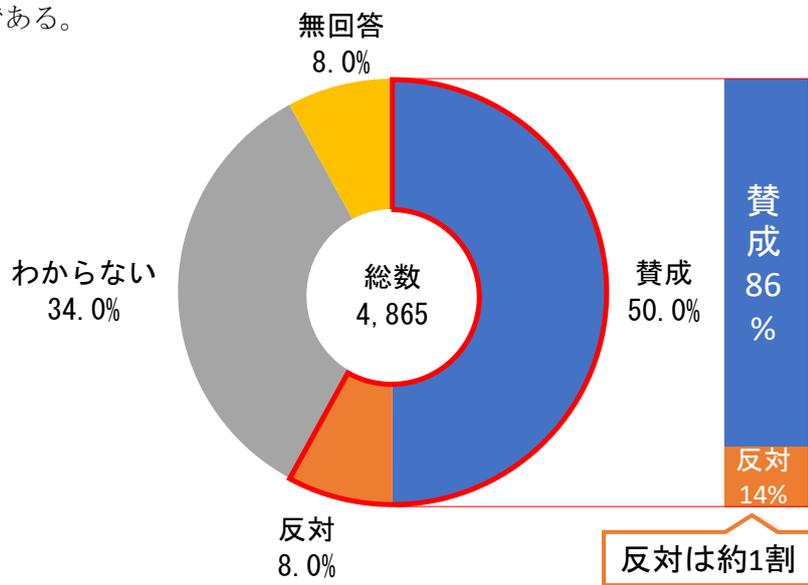
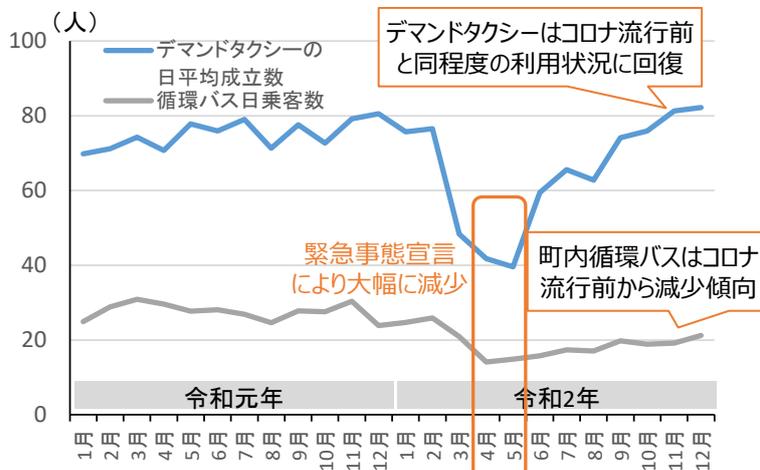


図 2-59 町内循環バスの廃止とデマンドタクシーへの置き換えに対する意見

【参考】 デマンドタクシーと町内循環バスの日平均乗客数の推移

利用者が減少傾向にあった町内循環バスは、令和 2 年のコロナの流行に伴う最初の緊急事態宣言以降利用が大きく減少し、緊急事態宣言解除後は緩やかに増加してきているものの、コロナ流行以前の減少傾向は変わっていないように見え、町内循環バス離れが進んでいる可能性が高い。

デマンドタクシーもコロナの流行に伴う最初の緊急事態宣言以降利用が大きく減少したが、緊急事態宣言解除後は比較的早く利用が回復し、令和 2 年末にはコロナ流行前と同程度の利用状況となっている。



出典：町内循環バス：乗客数（実績値）
デマンドタクシー：予約成立数（運行Logデータ）を集計

図 2-60 デマンドタクシーと町内循環バスの日平均乗客数の推移

(2) 置き換え反対の方の属性、町内循環バスの利用状況

今回実施した公共交通ニーズ調査で、町内循環バスのデマンドタクシーへの置き換えに反対した方の属性、町内循環バスの利用状況等について整理した。

a) 反対の方の居住地域

最多は、今宿に住んでいると回答した方の 22.7%にあたる 15 名。次いで下熊井に住んでいると回答した方の 17.3%にあたる 9 名。反対総数は、全回答者の 13.9%にあたる 339 名。

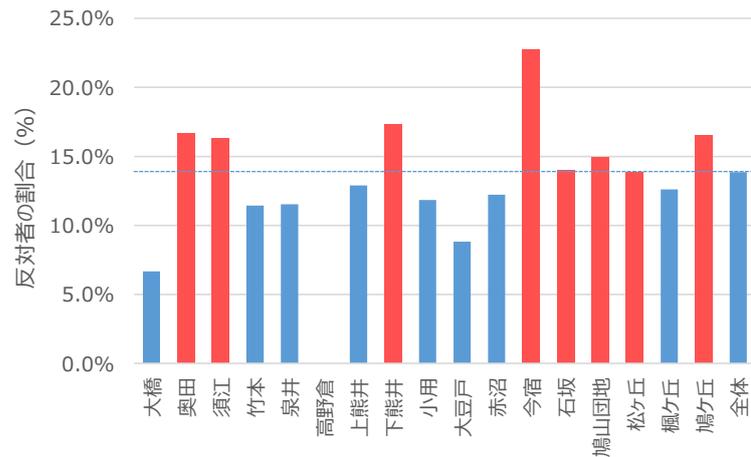


図 2-61 住所毎の反対と回答した方の割合



図 2-62 住所毎の反対と回答した方の人数

b) 反対の方の町内循環バスの利用状況

町内循環バスのデマンドタクシーへの置き換えに反対と回答した方の循環バスの利用状況は次のとおりで、反対者の約7割は普段町内循環バスを利用していない。

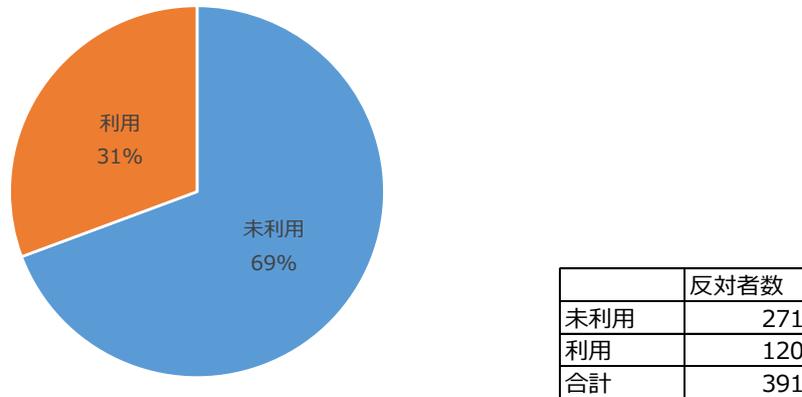


図 2-63 反対と回答した方の循環バス利用状況

約3割の普段町内循環バスを利用している方が最も利用する停留所は「図書館前」で14人。次いで多かったのが「鳩ヶ丘一丁目」で12人、その次が、「サブセンター前」と「鳩山東駐在所南」で11人。

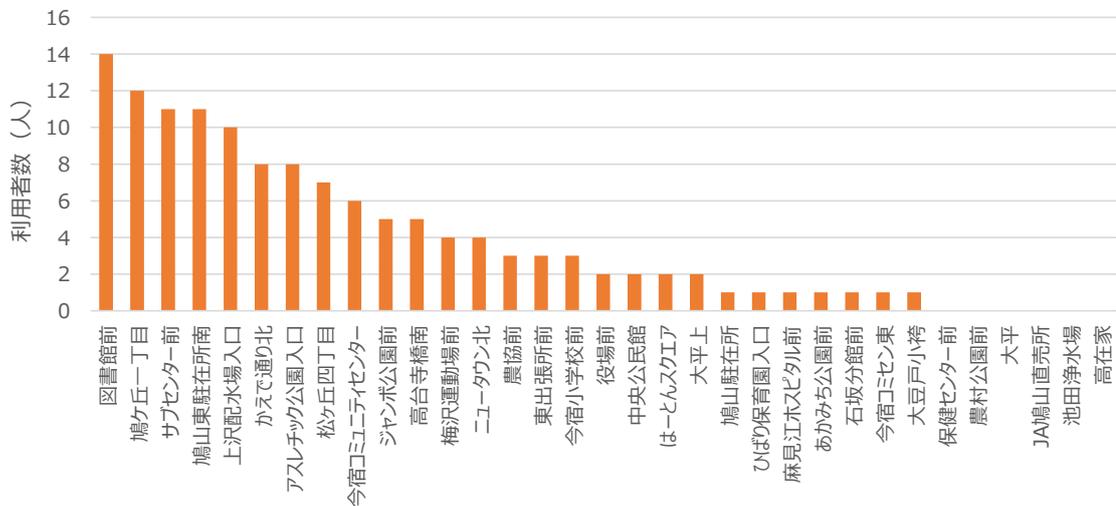


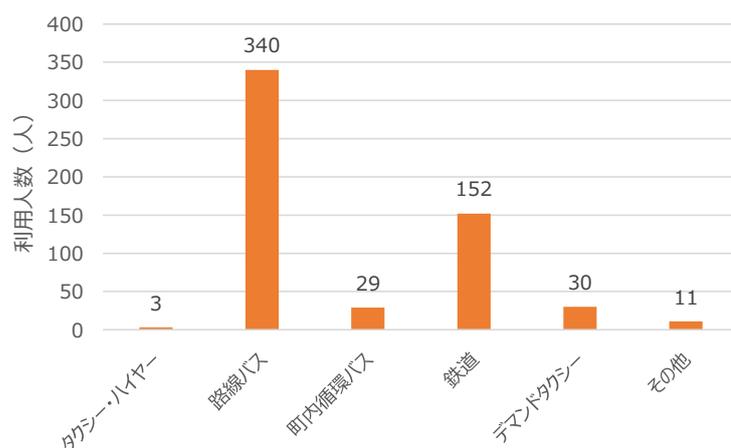
図 2-64 町内循環バス停留所利用者数

※複数回答をカウント

c) 反対の方の日常の移動手段

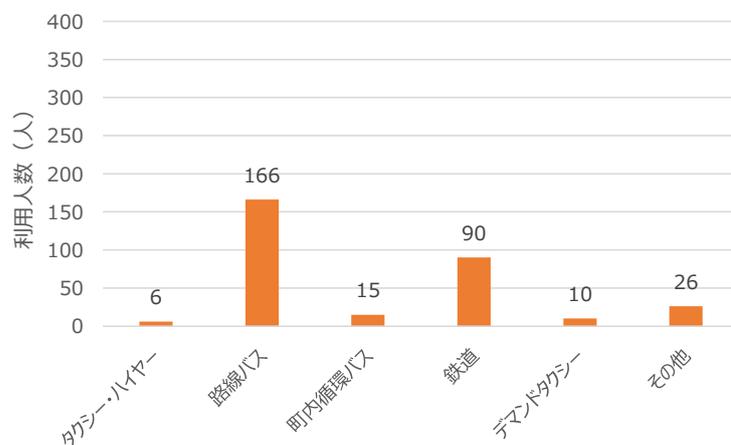
町内循環バスをデマンドタクシーに置き換えることに反対と回答した方の現在の日常の外出時の移動手段は、最多は平日、休日ともに、路線バスだった。普段平日に町内循環バスを利用していると回答した方の数は29人、普段休日に町内循環バスを利用していると回答した方の数は15人だった。

(参考：令和2年度の町内循環バスの平日・休日平均の1日当たり乗客数は17.6人)



移動手段	利用者数
5 タクシー・ハイヤー	3
6 路線バス	340
7 町内循環バス	29
8 鉄道	152
9 デマンドタクシー	30
10 その他	11
合計	565

図 2-65 平日の移動手段



移動手段	利用者数
5 タクシー・ハイヤー	6
6 路線バス	166
7 町内循環バス	15
8 鉄道	90
9 デマンドタクシー	10
10 その他	26
合計	313

図 2-66 休日の移動手段

(3) 町内循環バスを利用した人の外出先

本調査において、町内循環バスを利用して外出すると回答した方の外出先を集計した。

なお、移動手段は町内循環バスのみの利用に限らず、他の移動手段を併用しての外出も集計の対象とした。

- 平日は松ヶ丘が最も多く 21 人、休日は松ヶ丘とコモディイイダが最も多く 7 人であった。

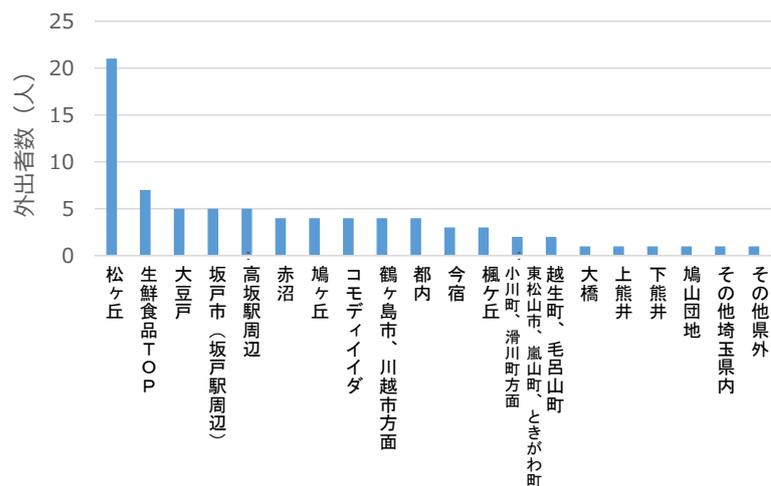


図 2-67 平日の外出先

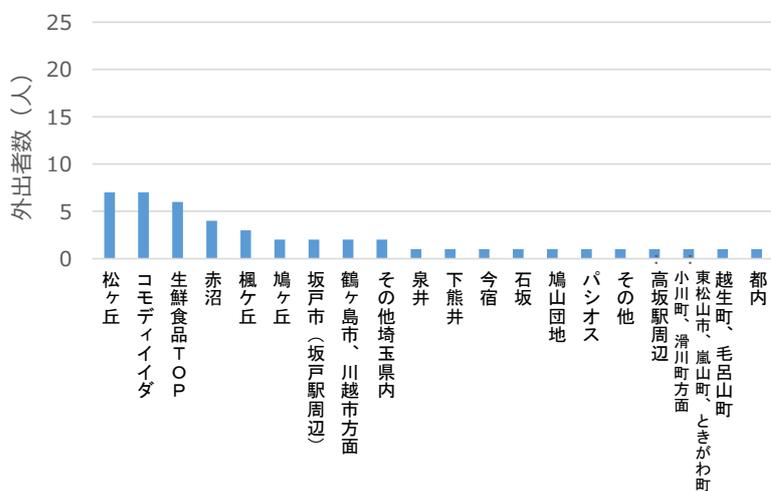


図 2-68 休日の外出先

2.6.2. デマンドタクシーの運賃に対する意見

(1) 町内便

現在運賃 100 円で運行している町内便については、最高で 100 円までなら値上げしても利用するという回答が 67.2%と最も多い。

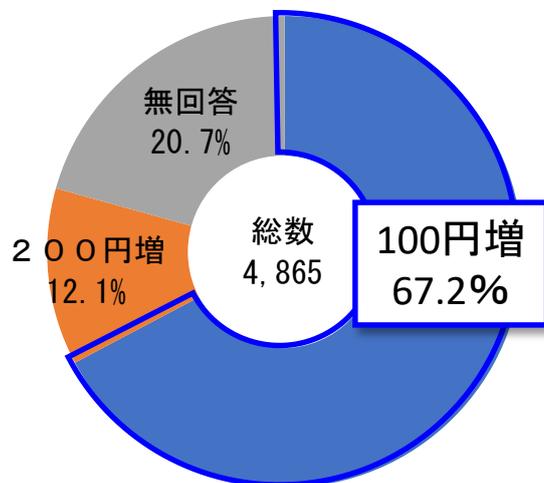


図 2-69 現在運行中のデマンドタクシーで利用可能な運賃の値上げ額（町内便）

(2) 医大便

現在運賃 500 円で運行している医大便については、最高で 100 円までなら値上げしても利用するという回答が 46.3%と最も多い。

また、町内便と比較して 200 円増の回答の割合が多く、全体の 31.5%を占める。

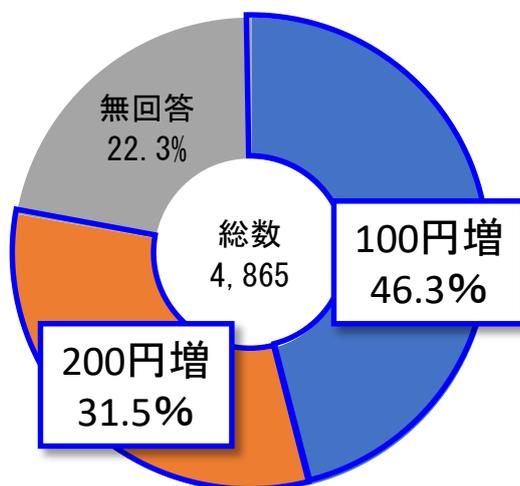


図 2-70 現在運行中のデマンドタクシーで利用可能な運賃の値上げ額（医大便）

(3) 新規に町外便を運行した場合

今後新たにデマンドタクシーが町外の拠点へ接続した場合、住民が利用したいと思う運賃は、300円および500円がそれぞれ全体の約3割を占める。

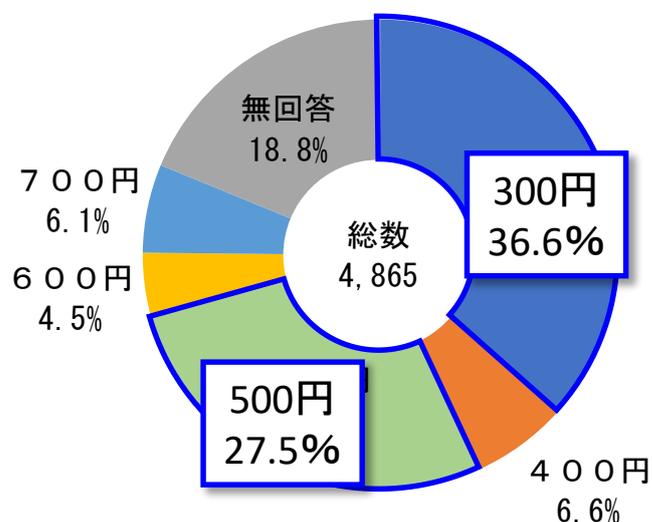


図 2-71 新規の町外便の運行で利用したいと思う運賃

2.7. モビリティマネジメントの実施の可能性について

現在自家用車を利用している移動を、公共交通へ置き換えることが可能であるかという質問に対し、「不可能である」という回答が「可能である」という回答を上回る。

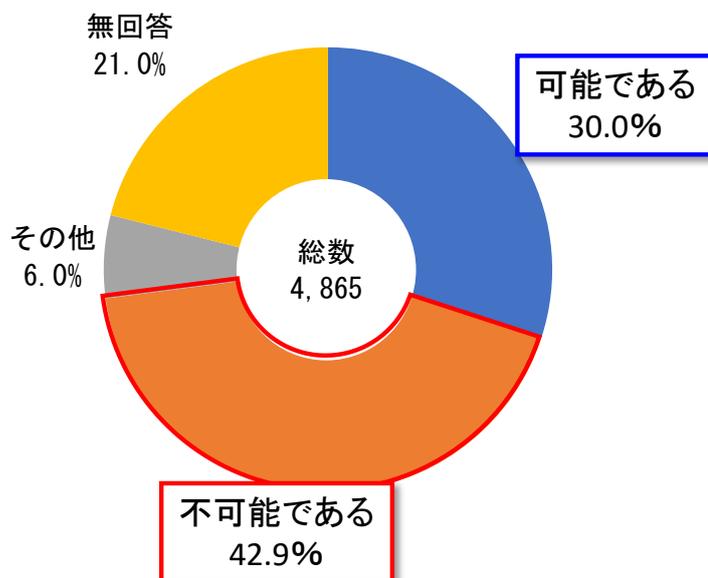


図 2-72 自家用車による移動を公共交通へ置き換えることに対する意見

2.8. 参考：外出頻度を考慮した1日の外出者数推計の手法

ニーズ調査 P.9（平日の外出状況）および P.9（休日の外出状況）部分によって得られた回答より、外出先とその外出頻度を整理した。

当該設問は第3位までの複数回答が可能であるため、1人が複数回答している場合、1つの外出利用を1単位として集計した。

外出頻度の重みづけの際の係数は以下のように設定した。

表 1 平日のニーズ調査「外出頻度」の回答に対応する係数

（平日は月～金曜日のため、週あたり5日、月あたり22日）

選択肢		分子	分母	⇒	係数
1	週5回	5日	5日		5/5
2	週3~4回	3.5日	5日		3.5/5
3	週1~2回	1.5日	5日		1.5/5
4	月に2~3回	2.5日	22日		2.5/22
5	月に1回未満	1日	22日		1/22

表 2 休日のニーズ調査「外出頻度」の回答に対応する係数

（休日は土・日曜日のため、週あたり2日、月あたり8日、年あたり100日）

選択肢		分子	分母	⇒	係数
1	週2回	2日	2日		2/2
2	週1回	1日	2日		1/2
3	月に2~3回	2.5日	8日		2.5/8
4	月に1回	1日	8日		1/8
5	年に数回未満	2日	100日		1/50

外出頻度と外出先毎に回答数を集計し、そこに上記の係数をかけて、1日あたりの外出者数を算出した。

平日外出頻度	平日外出先	回答数	1日あたりの外出者数
2	1	34	23.8
2	2	19	13.3
2	3	11	7.7
2	4	8	5.6
2	5	11	7.7
2	7	4	2.8
2	8	10	7
2	9	10	7
2	10		13.3

「外出先9」への平日の外出頻度が「2.週3~4回（≒3.5回）」なので、
 回答数10に、表2の係数「3.5/5」を乗じ、外出者数を算出すると、
10人×3.5/5=7人/日

図 2-73 計算方法

この結果得られた外出頻度別・外出先別の1日あたりの外出者数を合計することで、外出先別の1日あたりの外出者数を推計した。

なお、平日の1日あたりの外出者数推計結果を用いて、算出方法の妥当性を検証した。
検証方法は、1日あたりの外出者数合計値とニーズ調査回答者数を比較し、過大・もしくは過少な値となっていないかである。

その結果は以下のとおりで、過大でも過少でもなく、算出方法は妥当である。

表 3 妥当性の検証結果

①1日あたりの外出者数	4873.1人
②ニーズ調査回答者数（無回答者数）	4,865人（293人）
①/②	1.0 （無回答者数を除外した場合：1.06）

3. アンケート調査票

作成したアンケート調査票を以下より示す。

鳩山町公共交通ニーズ調査

- 15歳以上（中学校を卒業）のご家族全員のご回答をお願いします。
- 1枚の調査票に高校生以上のご家族4名までのお答えを書くことができます。高校生以上のご家族が5名以上の場合は、年齢層が異なる4名をお選びいただくか鳩山町役場 政策財政課（049-296-1212）へ追加の調査票の送付をご請求ください。
- 回答期日は12月18日(金)まで**です。回答期日が来ましたら、全員分揃わなくても調査票を配布した封筒に入れてポストに投函してください。
- 2ページ～11ページの質問に対して、**新型コロナ発生後の状況**をご回答ください。

(参考) 表1 鳩山町の公共交通の運営状況（デマンドタクシーおよび町内循環バス）
[令和元年度分]

内容	公共交通の種類	デマンドタクシー	町内循環バス
	運行内容	車両数	3台
運行時間帯		8時～17時	8時台～16時台
運賃		町内エリア便 100円 埼玉医大便 500円	町内2コース、1乗車 100円 ※1
サービス内容	1日の平均運行間隔・待ち時間	予約時に希望した時刻と実際に利用できた時刻の差、平均約10分	循環バスの運行間隔、平均約80分 (8時間で11便運行)
	利用方法	事前に予約し、自宅や目的地の近くで乗降 ※2	バスの運行時刻に合わせてバス停で乗降
運営収支	1日の乗者数	75人	26.5人
	運行経費(年間)	2,141万円/3台 ※3	1,211万円/1台
	運賃収入(年間)	350万円	67万円
	収支率 (運賃収入÷運行経費)	16.4%	5.6%
国支援後の町負担額	1回の利用に対する町の負担額	182円 (埼玉医大便も含めた額)	354円
車両更新の経費(1回)		約400万円/台 (令和3年に予定)	約2,000万円/台 (令和4年に予定)

- ※1 循環バスには65歳以上の方を対象としたシルバーバス（3か月3,000円の定期券）もあります。
- ※2 乗降時刻は、他の人の予約状況により希望した時刻から平均10分程度前後する場合があります。
- ※3 デマンドタクシーの経費には予約受付、予約システム費用も含まれています。

(参考) 表2 鳩山町～埼玉医大間の移動時間・運賃の例
(デマンドタクシー及びその他公共交通機関)

内容	公共交通の種類	デマンドタクシー	その他公共交通期間 (路線バス+鉄道)
	運行内容	移動時間	約30分
運賃		埼玉医大便 500円	780円

回答者ご自身のことや交通機関の利用状況について

【質問 1】 ご回答していただく方自身の事や交通機関の新型コロナ発生後の利用状況についてお尋ねします。下表の質問に対する回答を選択肢の中から選び、その番号を回答欄にご記入ください。

1-1 住所（地区）を教えてください。（以下の選択肢のうち、該当するもの1つに○）

1. 大橋 2. 奥田 3. 須江 4. 竹本 5. 泉井 6. 高野倉 7. 上熊井 8. 下熊井 9. 小用
10. 大豆戸 11. 赤沼 12. 今宿 13. 石坂 14. 鳩山団地 15. 松ヶ丘 16. 楓ヶ丘
17. 鳩ヶ丘

※以降の質問は、15歳以上（中学校を卒業）の家族全員分、該当する選択肢の番号を回答欄に記入してください。

1-2. 性別を教えてください。

1. 男 2. 女

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-3. 年齢を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-4. 職業を教えてください。

1. 学生 2. 就労者（会社員、団体職員、公務員等※雇用の形態は問いません）
3. 就労者（自営業） 4. 主婦 5. 無職 6. その他

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-5. 運転免許をお持ちですか。（複数選択可）

1. はい（自動車） 2. はい（自動二輪） 3. はい（原付自転車） 4. なし

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-6. 1-5 で 1. ～3. を選択した方にお聞きます。普段の運転の状況について教えてください。（複数選択可）

1. 普段運転している 2. 普段運転しない 3. 持っているが返納予定である

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-7. 普段、利用する鳩山町周辺の鉄道駅は、どこですか。

1. 坂戸駅 2. 北坂戸駅 3. 高坂駅 4. 越生駅 5. 明覚駅
6. その他（回答欄に駅名をご記入ください） 7. 利用しない

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-8. 普段利用する路線バスの自宅最寄りの停留所（鳩山町内）は、どこですか。

（利用していない場合は空欄にしてください）【停留所は、別添の公共交通マップもご参照ください】

《高坂駅～鳩山ニュータウン線》

1. 山村学園短期大学 2. ニュータウン北 3. 鳩山高校入口 4. 鳩山高校
5. ニュータウン中央 6. サブセンター前 7. 鳩山ニュータウン

《坂戸駅～大橋線》

21. 今宿 22. 公園前 23. 赤沼 24. 保健センター前 25. 役場前 26. 鳩山中学校前
27. 熊井 28. 大橋

《越生駅～高坂駅線》

31. 上熊井 32. 泉井 33. 泉井集落センター前 34. 竹本 35. 須江
36. 亀井農村センター入口 37. 大橋板谷 38. 大橋 39. 川子田 40. 奥田公会堂
41. 良品計画鳩山センター

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

1-9. 普段利用する町内循環バスの自宅最寄りの停留所（鳩山町内）は、どこですか。

（利用していない場合は空欄にしてください）【停留所は、別添の公共交通マップもご参照ください】

1. 保健センター前 2. 役場前 3. 中央公民館 4. 農協前 5. 鳩山駐在所
6. ひばり保育園入口 7. 農村公園前 8. 麻見江ホスピタル前 9. 図書館前
10. かえで通り北 11. ジャンボ公園前 12. サブセンター前 13. 高台寺橋南
14. アスレチック公園入口 15. 上沢配水場入口 16. 鳩ヶ丘一丁目 17. 梅沢運動場入口
18. あかみち公園前 19. 鳩山東駐在所南 20. 東出張所前 21. 松ヶ丘四丁目
22. はーとんスクエア 23. ニュータウン北 24. 大平上 25. 大平 26. 石坂分館前
27. JA 鳩山直売所 28. 池田浄水場 29. 高在家 30. 今宿小学校前 31. 今宿コミセン東
32. 今宿コミュニティセンター 33. 大豆戸小待

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

平日の外出状況（新型コロナ発生後）について

【質問2】現在のあなたの日常生活における『平日』の外出状況についてお尋ねします。
以下の選択肢から、外出頻度が高い外出目的を3つ選び、それぞれ外出頻度、外出先、出発時間帯および帰宅時間帯、移動手段を選択し、右側の回答欄にご記入ください。

2-1. 外出目的

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買物 4. 習い事等（注1） 5. 各種手続き（注2） 6. その他

注1「習い事等」には、塾やサークル活動なども含まれます。

注2「各種手続き」とは、役場などの公的機関での手続きや、金融機関での預金や引き出しなど

2-2. 外出頻度

1. 週5回 2. 週3~4回 3. 週1~2回 4. 月に2~3回 5. 月に1回未満

2-3. 外出先

《鳩山町内》1. 大橋 2. 奥田 3. 須江 4. 竹本 5. 泉井 6. 高野倉 7. 上熊井
8. 下熊井 9. 小用 10. 大豆戸 11. 赤沼 12. 今宿 13. 石坂 14. 鳩山団地
15. 松ヶ丘 16. 楓ヶ丘 17. 鳩ヶ丘

《坂戸市につさい花みずき地区》 21. サンテさかど 22. 生鮮食品TOP
23. コモディイイダ 24. パシオス 25. アベイル 26. ジョイフル
27. その他（施設名をご記入ください）

《その他町外》

31. 坂戸市（坂戸駅周辺） 32. 坂戸市（北坂戸駅周辺） 33. 東松山市（高坂駅周辺）
34. 東松山市（高坂駅周辺以外の地域）、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面
35. 越生町、毛呂山町、日高市方面 36. 鶴ヶ島市、川越市方面
37. その他埼玉県内（※回答欄に市町村名をご記入ください） 38. 都内 39. その他県外

2-4. (1) 出発時間帯 および (2) 帰宅時間帯

1. [0~4時台] 2. [5時台] 3. [6時台] 4. [7時台] 5. [8時台]
6. [9時台] 7. [10~11時台] 8. [12~13時台] 9. [14~15時台]
10. [16~17時台] 11. [18~19時台] 12. [20~21時台] 13. [22~23時台]

※日によって移動時間帯が異なる場合は、最も回数の多い時間帯を選んでください。

2-5. 移動手段

自宅から目的地に到着するまで利用する乗り物（徒歩は除く）を乗る順に3つまでご記入下さい。徒歩のみで移動する場合は空欄にしてください。

<記入例> 自宅から徒歩⇒路線バス⇒電車⇒路線バス⇒徒歩で帰宅の場合 6⇒8⇒6

1. 自転車 2. バイク・原付 3. 自動車（自分で運転） 4. 自動車（送迎）
5. タクシー・ハイヤー 6. 路線バス 7. 町内循環バス（はとバス） 8. 鉄道
9. デマンドタクシー 10. その他 ※徒歩は除きます

《回答欄》

回答者 1		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
2-1.	外出目的			
2-2.	外出頻度			
2-3.	外出先			
2-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
2-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 2		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
2-1.	外出目的			
2-2.	外出頻度			
2-3.	外出先			
2-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
2-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 3		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
2-1.	外出目的			
2-2.	外出頻度			
2-3.	外出先			
2-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
2-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 4		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
2-1.	外出目的			
2-2.	外出頻度			
2-3.	外出先			
2-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
2-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

休日（土日祝日）の外出状況（新型コロナ発生後）について

【質問3】現在のあなたの日常生活における『休日』の外出状況についてお尋ねします。
以下の選択肢から、外出頻度が高い外出目的を3つ選び、それぞれ外出頻度、外出先、出発時間帯および帰宅時間帯、移動手段を選択し、右側の回答欄にご記入ください。

3-1. 外出目的

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 買物 4. 習い事等(注1) 5. 各種手続き(注2) 6. その他

注1「習い事等」には、塾やサークル活動なども含まれます。

注2「各種手続き」とは、役場などの公的機関での手続きや、金融機関での預金や引き出しなど。

3-2. 外出頻度

1. 週2回 2. 週1回 3. 月に2~3回 4. 月に1回 5. 年に数回未満

3-3. 外出先

《鳩山町内》 1. 大橋 2. 奥田 3. 須江 4. 竹本 5. 泉井 6. 高野倉 7. 上熊井
8. 下熊井 9. 小用 10. 大豆戸 11. 赤沼 12. 今宿 13. 石坂 14. 鳩山団地
15. 松ヶ丘 16. 楓ヶ丘 17. 鳩ヶ丘

《坂戸市につさい花みずき地区》 21. サンテさかど 22. 生鮮食品 TOP
23. コモディイダ 24. パシオス 25. アベイル 26. ジョイフル
27. その他（施設名をご記入ください）

《その他町外》

31. 坂戸市（坂戸駅周辺） 32. 坂戸市（北坂戸駅周辺） 33. 東松山市（高坂駅周辺）
34. 東松山市（高坂駅周辺以外の地域）、嵐山町、ときがわ町、小川町、滑川町方面
35. 越生町、毛呂山町、日高市方面 36. 鶴ヶ島市、川越市方面
37. その他埼玉県内（※回答欄に市町村名をご記入ください） 38. 都内 39. その他県外

3-4. (1) 出発時間帯 および(2) 帰宅時間帯の選択肢

1. [0~4時台] 2. [5時台] 3. [6時台] 4. [7時台] 5. [8時台]
6. [9時台] 7. [10~11時台] 8. [12~13時台] 9. [14~15時台]
10. [16~17時台] 11. [18~19時台] 12. [20~21時台] 13. [22~23時台]

※日によって移動時間帯が異なる場合は、最も回数の多い時間帯を選んでください。

3-5. 移動手段

自宅から目的地に到着するまで利用する乗り物（徒歩は除く）を乗る順に3つまでご記入下さい。徒歩のみで移動する場合は空欄にしてください。

<記入例> 自宅から徒歩→路線バス→電車→路線バス→徒歩で帰宅の場合 6→8→6

1. 自転車 2. バイク・原付 3. 自動車（自分で運転） 4. 自動車（送迎）
5. タクシー・ハイヤー 6. 路線バス 7. 町内循環バス（はとバス） 8. 鉄道
9. デマンドタクシー 10. その他 ※徒歩は除きます

《回答欄》

回答者 1		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
3-1.	外出目的			
3-2.	外出頻度			
3-3.	外出先			
3-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
3-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 2		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
3-1.	外出目的			
3-2.	外出頻度			
3-3.	外出先			
3-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
3-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 3		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
3-1.	外出目的			
3-2.	外出頻度			
3-3.	外出先			
3-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
3-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

回答者 4		外出頻度第 1 位	外出頻度第 2 位	外出頻度第 3 位
3-1.	外出目的			
3-2.	外出頻度			
3-3.	外出先			
3-4.	(1) 出発時間帯			
	(2) 帰宅時間帯			
3-5.	移動手段 1			
	移動手段 2			
	移動手段 3			

あきらめている外出の状況について

【質問4】現在、公共交通などの移動サービスが不便であったり、移動サービスがないことが原因で、移動をあきらめることがありますか。ある場合はその目的地について、平日・休日それぞれ、該当する選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

4-1. 移動をあきらめていることの有無

1. ある 2. ない

《回答欄》

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
平日				
休日				

4-2. あきらめている場合の目的地（複数回答可）

《坂戸市につきい花みずき地区》1. サンテさかど 2. 生鮮食品 TOP 3. コメディイイダ
4. パシオス 5. アベイル 6. ジョイフル
7. その他（選択肢の番号と回答欄に施設名をご記入ください）

《鉄道駅》11. 坂戸駅 12. 北坂戸駅 13. 高坂駅 14. 越生駅 15. 明覚駅
16. その他（回答欄に選択肢の番号と駅名をご記入ください）

《町内》21. その他（回答欄に選択肢の番号と施設名をご記入ください）

《回答欄》

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
平日				
休日				

インターネットの利用状況や感染症の影響について

【質問5】スマートフォンやパソコンなどのICT機器の利用状況について、該当する選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

5-1. 現在、インターネットは利用していますか。(複数選択可)

1. スマートフォンで利用 2. タブレットで利用 3. パソコンで利用
4. その他携帯電話で利用 5. 代理で操作してもらっている 6. 利用していない

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

5-2. デマンドタクシーについて、インターネット予約があれば利用しますか。

1. 利用する 2. 利用しない

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

【質問6】新型コロナウイルスによる移動実態の変化について、該当する選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

6-1. 新型コロナウイルス発生前(令和元年12月以前)の『平日』の外出頻度をお答えください。

1. 週5回 2. 週3~4回 3. 週1~2回 4. 月に2~3回 5. 月に1回未満

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

6-2. 新型コロナウイルス発生後(令和2年1月以降)の『平日』の外出頻度をお答えください。

1. 週5回 2. 週3~4回 3. 週1~2回 4. 月に2~3回 5. 月に1回未満

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

6-3. 新型コロナウイルス発生前(令和元年12月以前)の『休日(土日祝)』の外出頻度をお答えください。

1. 週2回 2. 週1回 3. 月に2~3回 4. 月に1回 5. 年に数回未満

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

6-4. 新型コロナウイルス発生後(令和2年1月以降)の『休日(土日祝)』の外出頻度をお答えください。

1. 週2回 2. 週1回 3. 月に2~3回 4. 月に1回 5. 年に数回未満

	回答者1	回答者2	回答者3	回答者4
回答欄				

鳩山町の移動手段のあり方について

【質問7】鳩山町で運営している公共交通には、下記の意見があります。下記の点線枠内の説明を読みながら、今後の鳩山町の移動手段のあり方として、あなたの考えに近い選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

7-1. 町内循環バスとデマンドタクシーの運営状況について

サービス区域の重複、利用状況、運営コストの面から、町内循環バスをデマンドタクシーに置き換えるべきとの意見がありますが、これについてどう考えますか？

1. 賛成 2. 反対 3. わからない

回答欄	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4

[説明] 1ページの表1のとおり、新型コロナ発生前の町内循環バスの1日あたり乗者数は、デマンドタクシー1台の1日あたり乗者数と同等です。しかし、年間の運営費は循環バス1台でデマンドタクシーの2台分に近く、老朽化した車両の更新費は循環バス1台分がデマンドタクシー5台分に相当します。

7-2. デマンドタクシーの運賃について

(1) デマンドタクシーのサービス維持のため、料金の改定を行うとしたら、最高でいくらまでならこのサービスを利用したいと思いますか。町内便、埼玉医大便について、それぞれお答えください。

1. 100円増 2. 200円増

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
町内便 回答欄				
埼玉医大便 回答欄				

[説明] 鳩山町で運行中のデマンドタクシーは、国の支援を受け、更に、町の財政から1回200円近い負担を行うことで、1ページの表2のとおり他の公共交通機関より安価な運賃を実現していますが、町税減収のなか継続性に課題があります。

(2) 今後、埼玉医大以外の新たな町外の拠点(駅・商業地域等)へ接続したデマンドタクシーの運行を開始するとしたら、最高でいくらまでなら利用したいと思いますか。

1. 300円 2. 400円 3. 500円 4. 600円 5. 700円

回答欄	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4

モビリティマネジメントについて

【質問8】モビリティマネジメントの実施の可能性についてお尋ねします。下記の点線枠内の説明を読みながら、該当する選択肢の番号を回答欄にご記入ください。

8-1. 現在自家用車で移動している方にお尋ねします。移動を公共交通へ置き換えることが可能でしょうか？

1. 可能である 2. 不可能である 3. その他

	回答者 1	回答者 2	回答者 3	回答者 4
回答欄				

[説明] モビリティマネジメントとは、町を、過度に自動車に頼る状態から、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態へ、少しずつ変えていく一連の取り組みです。

8-2. 8-1. で「2. 不可能である」と答えた方は、もしわかればその理由を教えてください。

--

【質問9】最後に、鳩山町の公共交通について、自由なご意見をお聞かせください。

--

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。